



2025年度 第1四半期（4-6月） 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役（兼）専務執行役員CFO
執行役員経営管理部長

堀越 健
菱沼 聖史

2025年7月29日（火）

目次

I. 2025年度 第1四半期（4-6月）決算の概要 <P3-P10>

P4-P5	: 2025年度 第1四半期（4-6月）の概要・セグメント売上高と利益
P6-P7	: <建設機械・車両> 2025年度 第1四半期（4-6月）の状況
P8	: <リテールファイナンス> 2025年度 第1四半期（4-6月）の状況
P9	: <産業機械他> 2025年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益
P10	: 連結貸借対照表

II. 2025年度の業績見通し <P11-P23>

P12-P13	: 米国の追加関税影響額の最新見積り
P14	: 2025年度の見通し（概要）
P15-P19	: <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
P20-P22	: <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移・売上高の見通し
P23	: <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し

参考資料 <P24-P37>

P25-P29	: 四半期毎の状況
P30-P34	: <建設機械・車両> 一般建機・鉱山機械別の状況・見通し
P35	: Komtrax 月平均稼働時間推移
P36-P37	: BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2025年度 第1四半期（4-6月）決算の概要

2025年度 第1四半期（4-6月）決算の概況

- ・売上高は、前年同期比▲5.2%減収の9,095億円。
- ・営業利益は、前年同期比▲10.6%減益の1,404億円。売上高営業利益率は、▲1.0ポイント低下し15.4%。
- ・純利益は、前年同期比▲16.9%減益の912億円。

金額単位：億円	2024年4-6月 ¥155.5/USD ¥167.5/EUR ¥101.9/AUD	2025年4-6月 ¥145.5/USD ¥162.5/EUR ¥92.6/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	9,598	9,095	▲ 503	▲5.2%
セグメント利益	1,566	1,400	▲ 166	▲10.6%
その他の営業収益（▲費用）	4	4	▲ 1	-
営業利益	1,570	1,404	▲ 166	▲10.6%
売上高営業利益率	16.4%	15.4%	▲ 1.0ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 64	▲ 91	▲ 26	-
税引前四半期純利益	1,505	1,313	▲ 192	▲12.8%
当社株主に帰属する四半期純利益	1,097	912	▲ 185	▲16.9%

2025年度 第1四半期（4-6月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比▲5.5%減収の8,449億円。セグメント利益は、前年同期比▲14.1%減益の1,223億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期並みの304億円。セグメント利益は、前年同期比+22.5%増益の94億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲4.6%減収の435億円。セグメント利益は、前年同期比+43.5%増益の72億円。

金額単位：億円				前年同期比	
				増減	増減率
売上高		2024年4-6月	2025年4-6月		
		9,598	9,095	▲ 503	▲5.2%
	建設機械・車両	(8,913) 8,943	(8,423) 8,449	(▲ 490) ▲ 494	(▲5.5%) ▲5.5%
	リテールファイナンス	(235) 305	(242) 304	(+7) ▲ 0	(+2.9%) ▲0.1%
	産業機械他	(450) 455	(431) 435	(▲ 20) ▲ 21	(▲4.4%) ▲4.6%
	消去	▲ 105	▲ 93	+12	-
セグメント利益		16.3% 1,566	15.4% 1,400	▲0.9ポイント ▲ 166	▲10.6%
	建設機械・車両	15.9% 1,423	14.5% 1,223	▲1.4ポイント ▲ 200	▲14.1%
	リテールファイナンス	25.1% 76	30.8% 94	+5.7ポイント +17	+22.5%
	産業機械他	11.0% 50	16.6% 72	+5.6ポイント +22	+43.5%
	消去または全社	16	12	▲ 4	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

売上は、物量減を販売価格改善で吸収したものの、前年同期比で円高となった影響により減収。
利益は、物量減やコスト増を販売価格改善で一部吸収したものの、主に前年同期比で円高となった影響により減益。

■ リテールファイナンス

売上は、金利収入は増加したものの円高の影響により前年同期並み。利益は、主に資金調達コストの低下により増益。

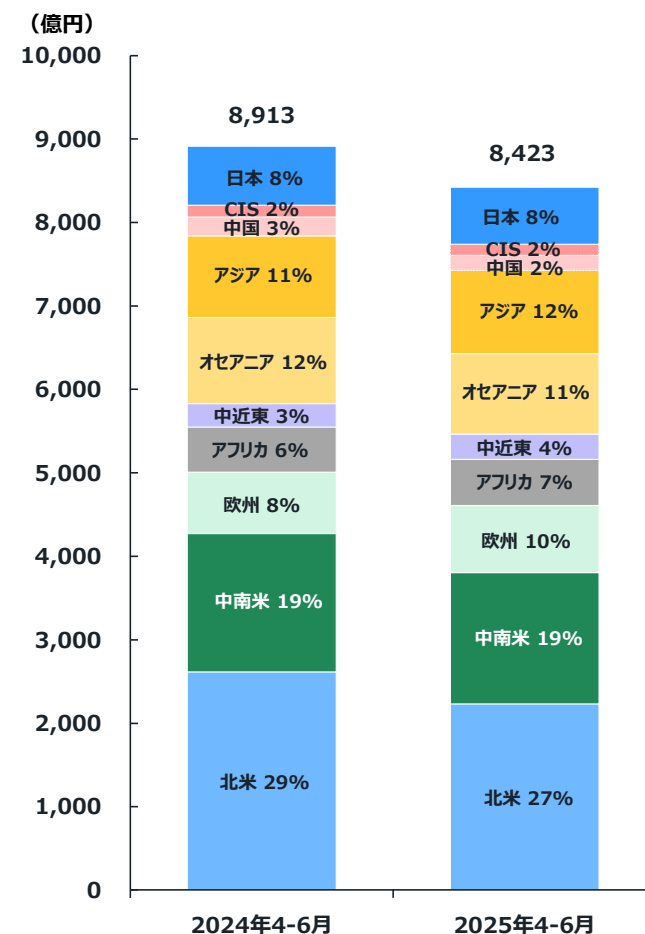
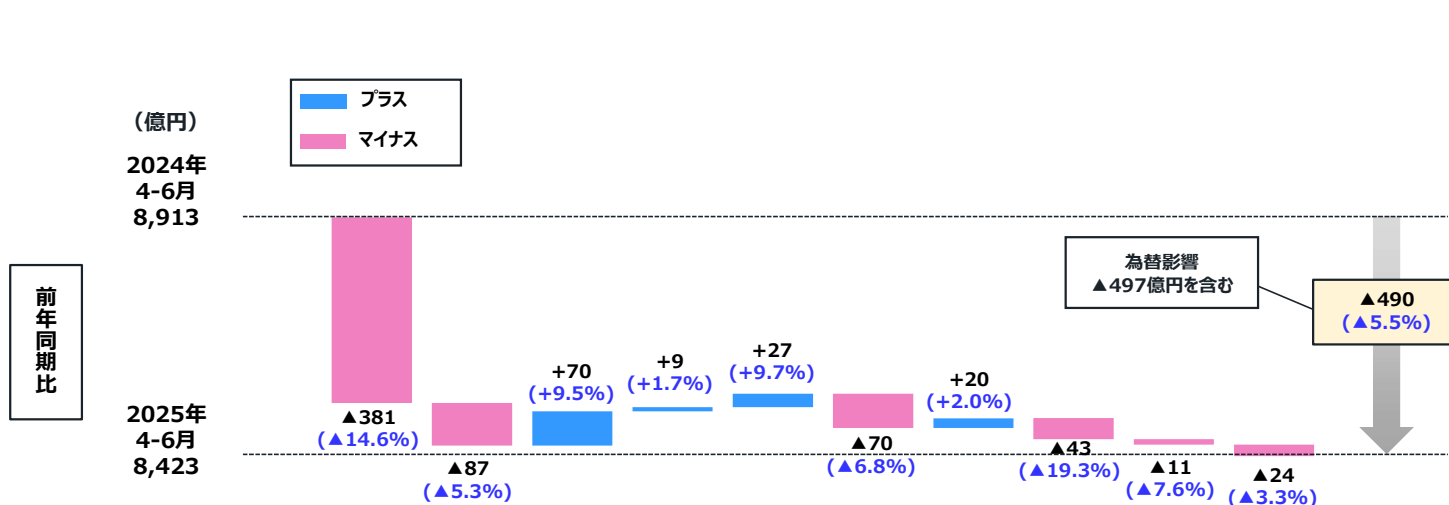
■ 産業機械他

売上は、鍛圧機械の販売減少などにより減収。利益は、利益率の高いエキシマレーザのメンテナンス売上が増加したことなどにより増益。

% : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

<建設機械・車両> 2025年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）

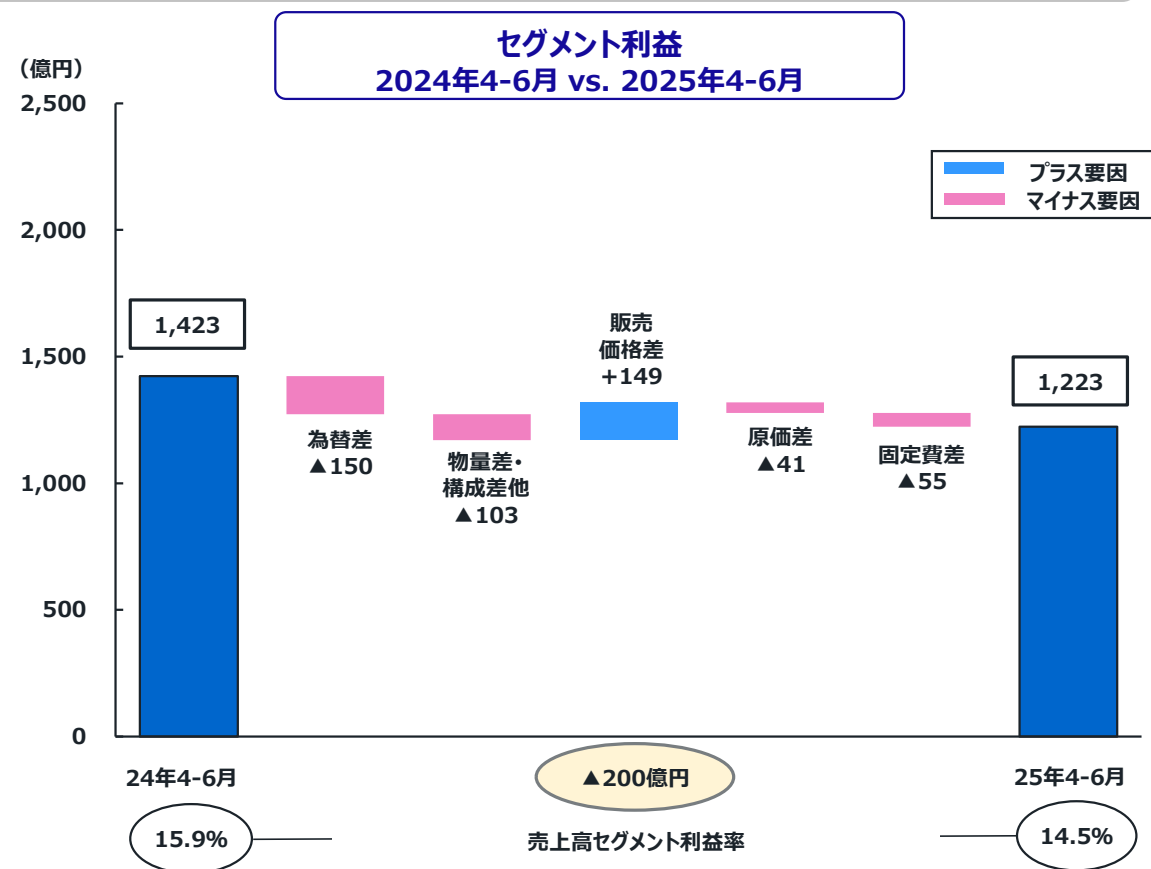
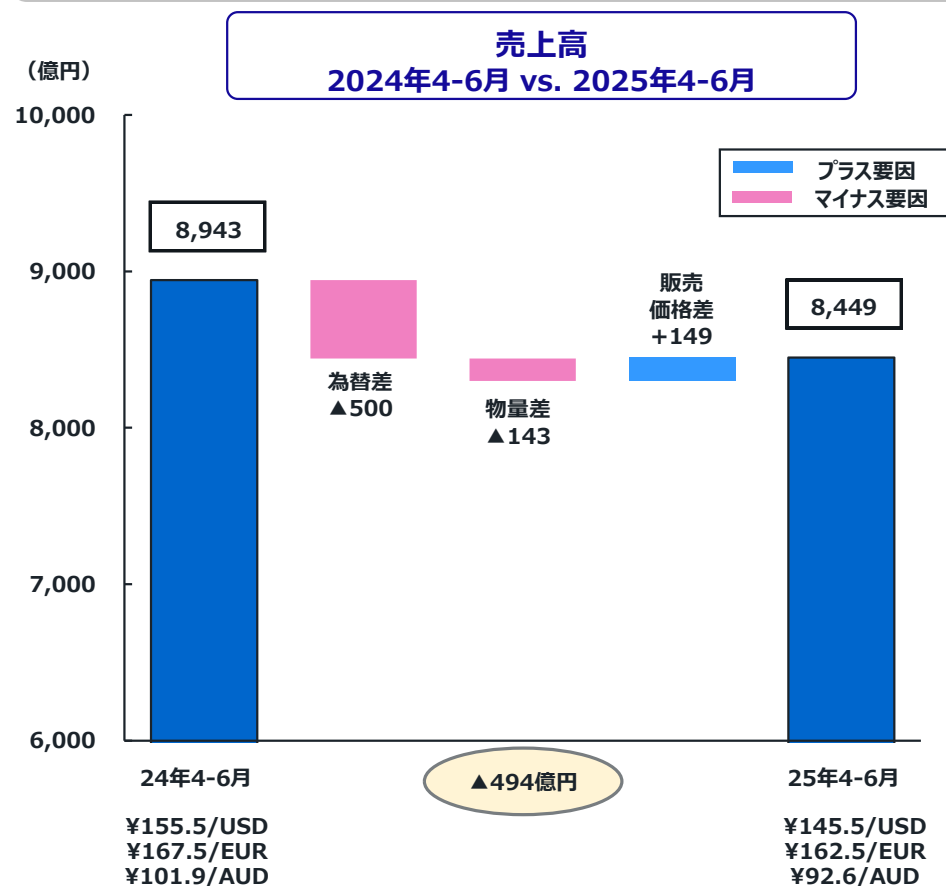
- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比▲5.5%減収の8,423億円。
- ・為替影響を除く実質ベースでは、北米は主にマイニング本体の販売減により減収、その他の地域は日本と中国を除き増収。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年 4-6月	2,615	1,657	736	543	277	1,031	980	226	142	706	8,913
2025年 4-6月	2,234	1,570	806	552	304	962	999	182	132	682	8,423
増減	▲ 381	▲ 87	+70	+9	+27	▲ 70	+20	▲ 43	▲ 11	▲ 24	▲ 490
増減 (為替影響除き)	▲ 229	+19	+96	+33	+45	+21	+76	▲ 31	+1	▲ 24	+7

<建設機械・車両> 2025年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量減を販売価格改善で吸収したものの、前年同期比で円高となった影響により、前年同期比▲494億円の減収。
- ・セグメント利益は、物量減やコスト増を販売価格改善で一部吸収したものの、主に前年同期比で円高となった影響により、前年同期比▲200億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比▲1.4ポイント低下し14.5%。

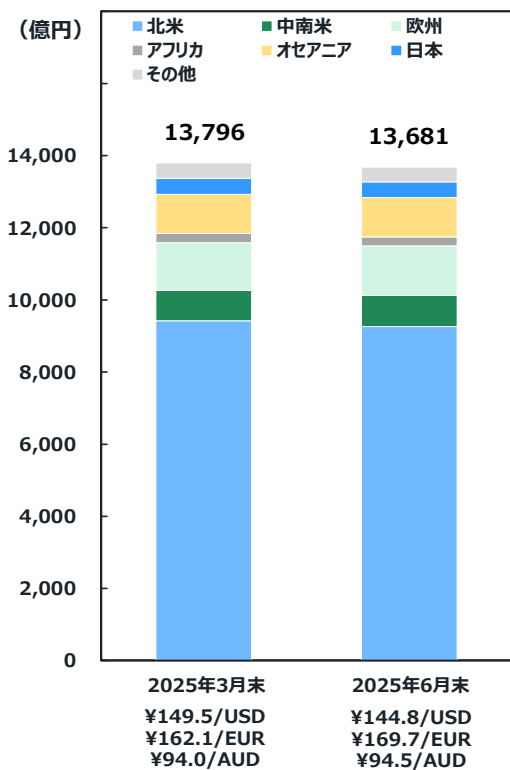


<リテールファイナンス> 2025年度 第1四半期（4-6月）の状況

- ・ 資産は、主に対米ドルで円高となった影響により、前年度末比▲115億円の減少。
- ・ 新規取組高は、前年同期比で円高となった影響や、北米での新規取組の減少により、前年同期比▲463億円の減少。
- ・ 売上高は、金利収入増も前年同期比で円高となった影響により、前年同期並み。セグメント利益は、主に調達コストの低下により、前年同期比+17億円の増益。

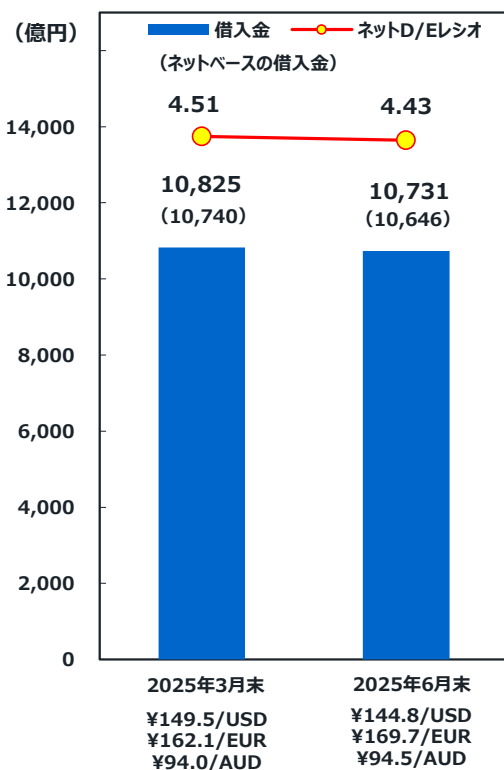
資産

2025年3月末 vs. 2025年6月末



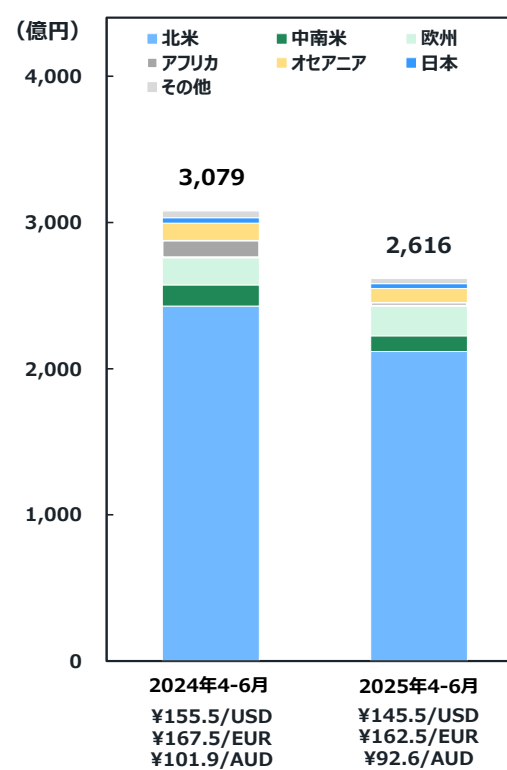
借入金

2025年3月末 vs. 2025年6月末



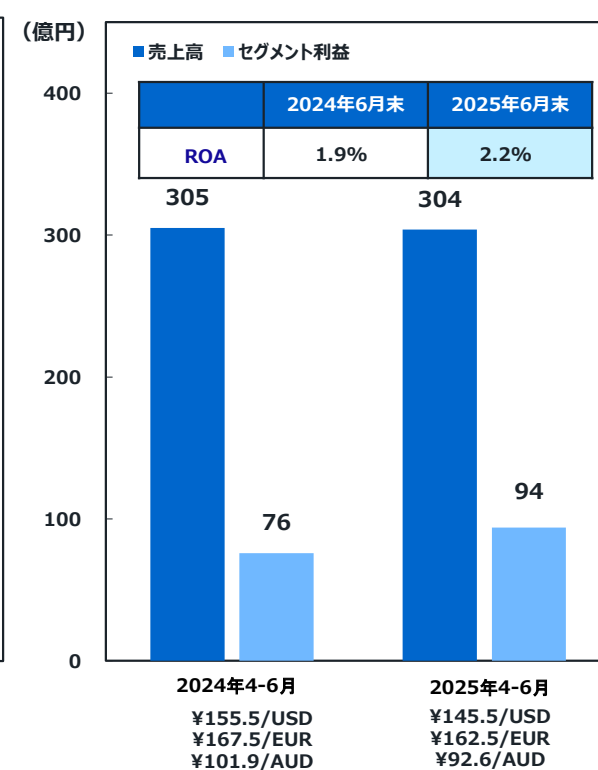
新規取組高

2024年4-6月 vs. 2025年4-6月



収益

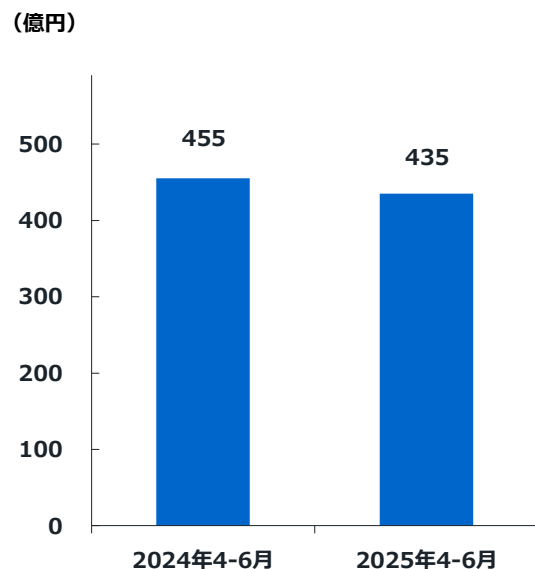
2024年4-6月 vs. 2025年4-6月



＜産業機械他＞ 2025年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比▲4.6%減収の435億円。セグメント利益は、前年同期比+43.5%増益の72億円。
- ・鍛圧機械の販売減少などにより減収。利益率の高いエキシマレーザーのメンテナンス売上が増加したことなどにより増益。
- ・売上高セグメント利益率は、16.6%。

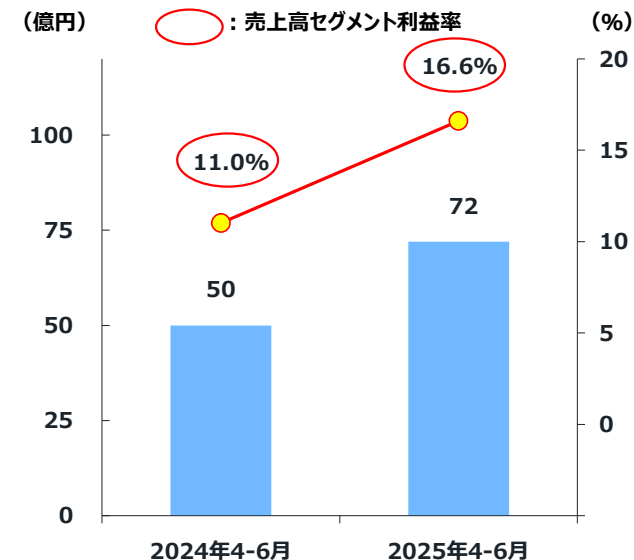
売上高
2024年4-6月 vs. 2025年4-6月



売上高の内訳

(億円)	2024年4-6月	2025年4-6月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	134	117	▲17	▲12.8%
コマツNTC	76	86	+10	+13.1%
ギガフォトン	137	160	+23	+17.0%
その他	109	72	▲37	▲34.2%
合 計	455	435	▲21	▲4.6%

セグメント利益
2024年4-6月 vs. 2025年4-6月



連結貸借対照表

- ・総資産は、主に棚卸資産の増加により前年度末比+727億円増加の5兆8,462億円。棚卸資産は、前年度末比+940億円増加の1兆5,007億円。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲1.9ポイント低下し53.1%。

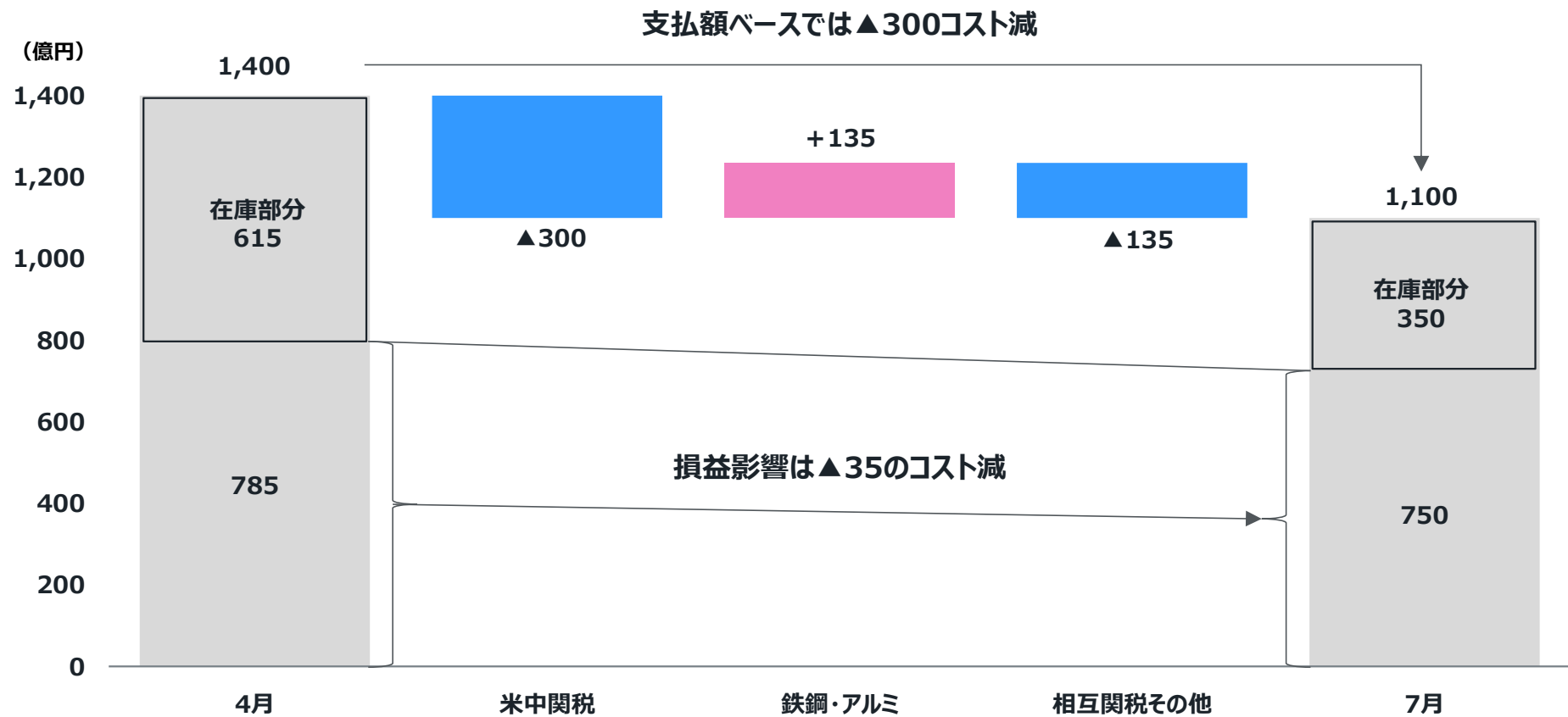
連結貸借対照表

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2025年3月末 ¥149.5/USD ¥162.1/EUR ¥94.0/AUD	2025年6月末 ¥144.8/USD ¥169.7/EUR ¥94.5/AUD	増減
● 現金・預金（含む定期預金） [a]	3,856	4,489	+633
● 受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	20,825	19,934	▲ 892
● 棚卸資産	14,067	15,007	+940
● 有形固定資産	9,143	9,124	▲ 19
● その他資産	9,845	9,910	+65
● 資産合計	57,735	58,462	+727
● 支払手形・買掛金	3,349	3,107	▲ 243
● 借入金・社債 [b]	11,506	13,570	+2,064
● その他負債	9,431	9,078	▲ 354
● 負債合計	24,287	25,755	+1,468
（株主資本比率）	(55.0%)	(53.1%)	(▲1.9ポイント)
● 株主資本	31,734	31,046	▲ 688
● 非支配持分	1,715	1,662	▲ 53
● 負債及び純資産合計	57,735	58,462	+727
● ネットベースの借入金・社債 [b-a]	0.24 7,650	0.29 9,082	+1,431
● ネットD/Eレシオ （リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.11	▲0.05	

Ⅱ. 2025年度の業績見通し

米国の追加関税影響額の最新見積り

- ・7月24日時点で米国政府が発表している関税政策と税率に基づき、関税コストの最新見積りは以下の通り。
- ・関税政策による需要減と売上・利益の見直しは見直していないが、関税コストは4月時点の見直しに対し、支払いベースでは300億円、損益影響では35億円のコスト減と見積り。



米国の追加関税影響額の最新見積り

- ・7月24日時点で米国政府が発表している関税政策に基づく、主な国別の税率は次の通り。
- ・各国別の適用税率は、鉄鋼・アルミ以外に関しては、各国間の交渉などにより4月時点の見通しより下がるケースが多いが、鉄鋼・アルミに関しては、6月に全世界に対し50%となったことで4月時点の見通しに対し上がるケースが多い。

	日本		中国（※2）		カナダ・メキシコ（※3）		その他	
	4月	7月	4月	7月	4月	7月	4月	7月
鉄鋼・アルミ	+25%	+50%	+45%	+70%	+50%	+50%	+25%	+50%
鉄鋼・アルミ以外 （※1）	+24% （～25/6） +10% （25/7～）	+10% （～25/7） +15% （25/8～）	+145%	+30% （～25/8） +54% （25/9～）	+25%	<加・墨> +25% （～25/7） <加> +35% （25/8～） <墨> +30% （25/8～）	各国の税率	各国の税率

（※1）税率は原則として建設機械に対する関税率

（※2）鉄鋼アルミ、それ以外ともに対フェンタニル分の+20%を含む

（※3）カナダ・メキシコの鉄鋼・アルミ以外の追加関税は対フェンタニル関税として課税

2025年度の業績見通し（概要）

- 2025年度の業績見通しは、前回の見通し（4月）から変更無し。

金額単位：億円	2024年度 ¥152.8/USD ¥163.5/EUR ¥99.5/AUD	2025年度 (見通し) ¥135.0/USD ¥150.0/EUR ¥84.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
売上高	41,044	37,450	▲ 3,594	▲8.8%
セグメント利益	6,635	4,830	▲ 1,805	▲27.2%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 64	▲ 50	+14	-
営業利益	6,571	4,780	▲ 1,791	▲27.3%
売上高営業利益率	16.0%	12.8%	▲ 3.2ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 523	▲ 360	+163	-
税引前当期純利益	6,048	4,420	▲ 1,628	▲26.9%
当社株主に帰属する当期純利益	4,396	3,090	▲ 1,306	▲29.7%

ROE	14.2%	(※) 10.0%	▲4.2ポイント
1株当たり配当金（円）	190円	190円	±0円
連結配当性向	40.1%	(※) 56.7%	

(※) 自己株式取得の影響を考慮していない

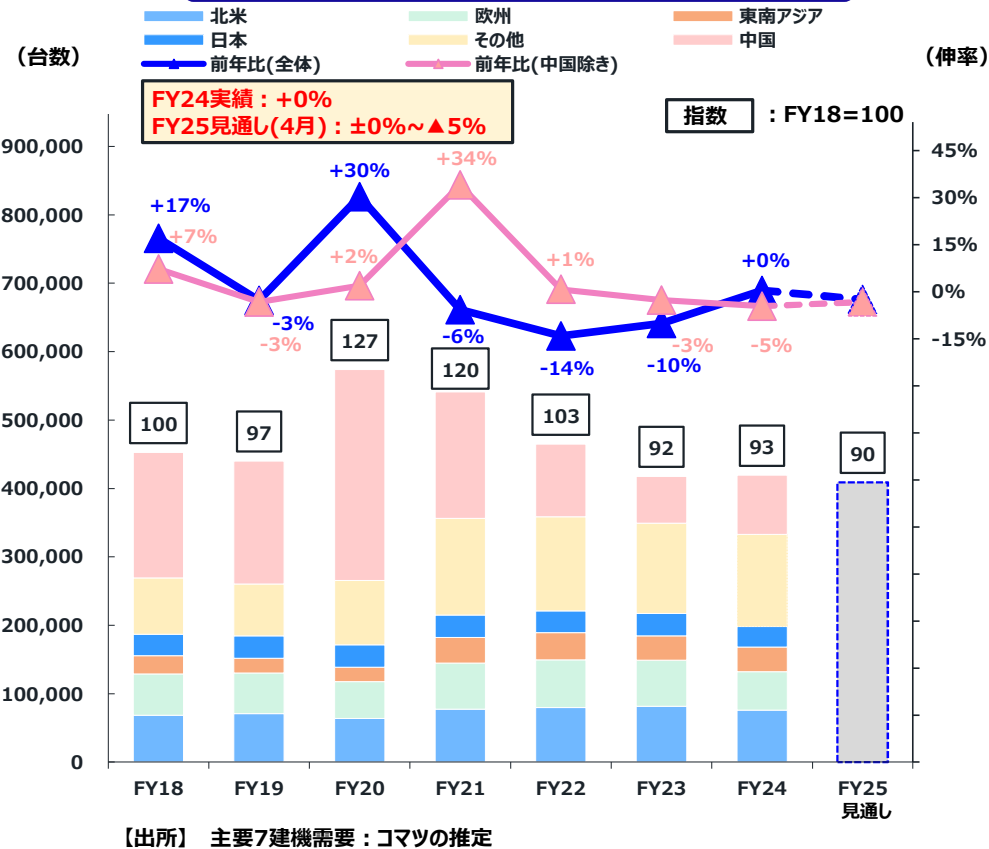
売上高・営業利益への為替感応度（1円変動/年）

	売上高	営業利益
USD	150億円	43億円
EUR	26億円	5億円
AUD	40億円	3億円

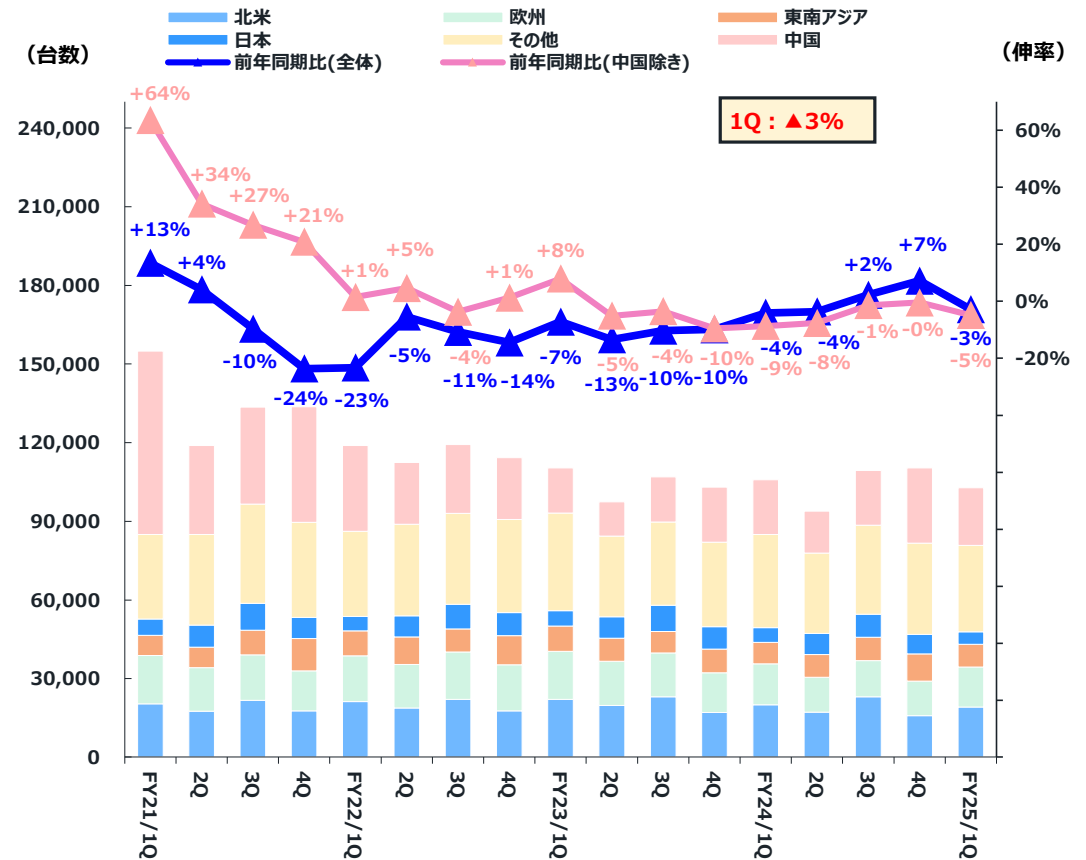
＜建設機械・車両＞ 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比▲3%の減少。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し。

主要7建機 年度別需要推移



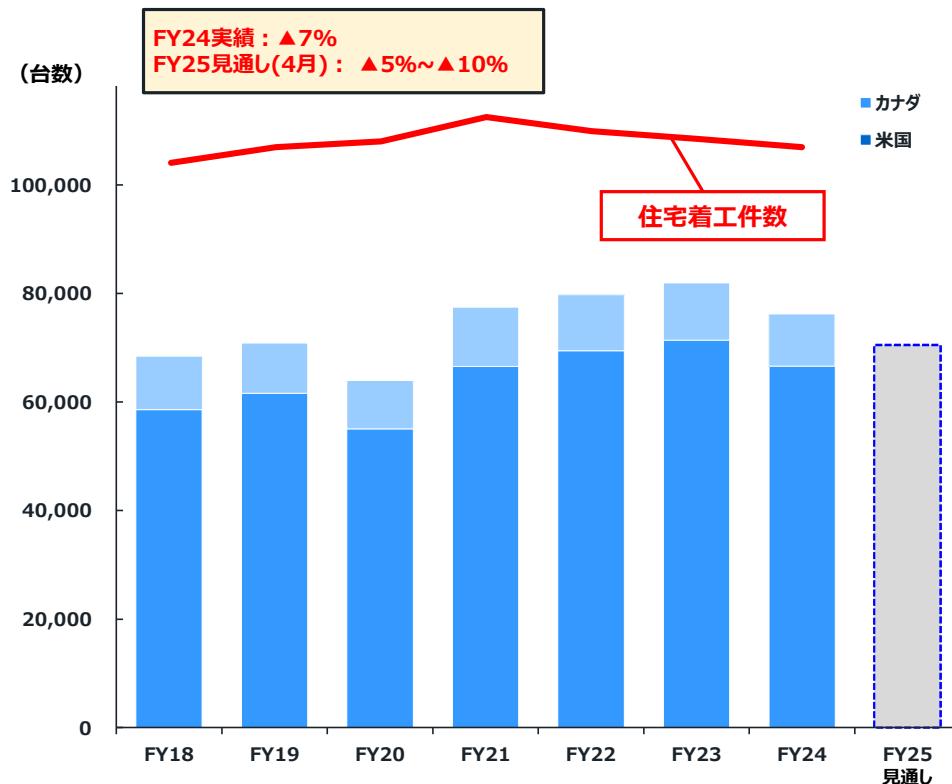
主要7建機 四半期別需要推移



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①北米

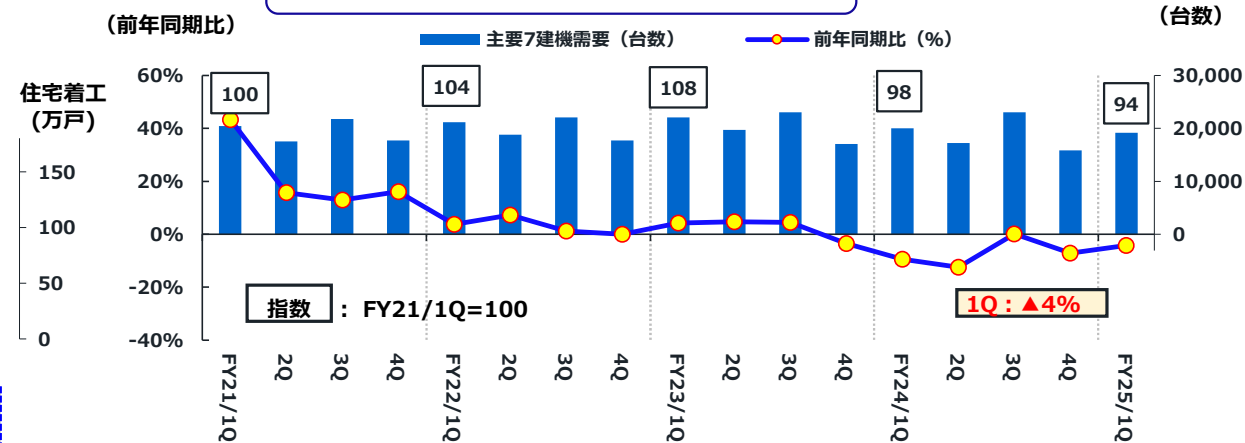
- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比▲4%の減少。一般建機の代理店在庫は適正化、米国の関税政策が需要に与える影響を注視。
- ・2025年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し。

主要7建機 需要推移と住宅着工件数

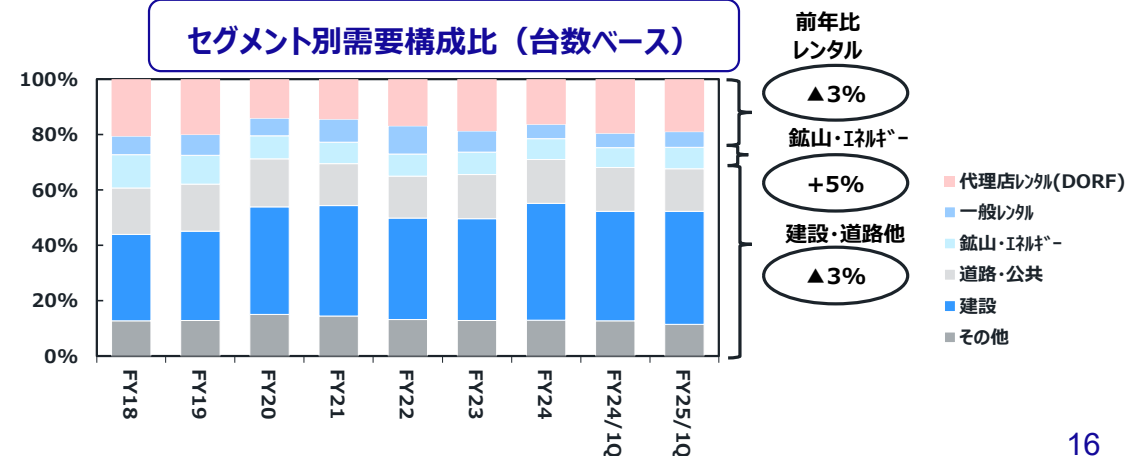


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



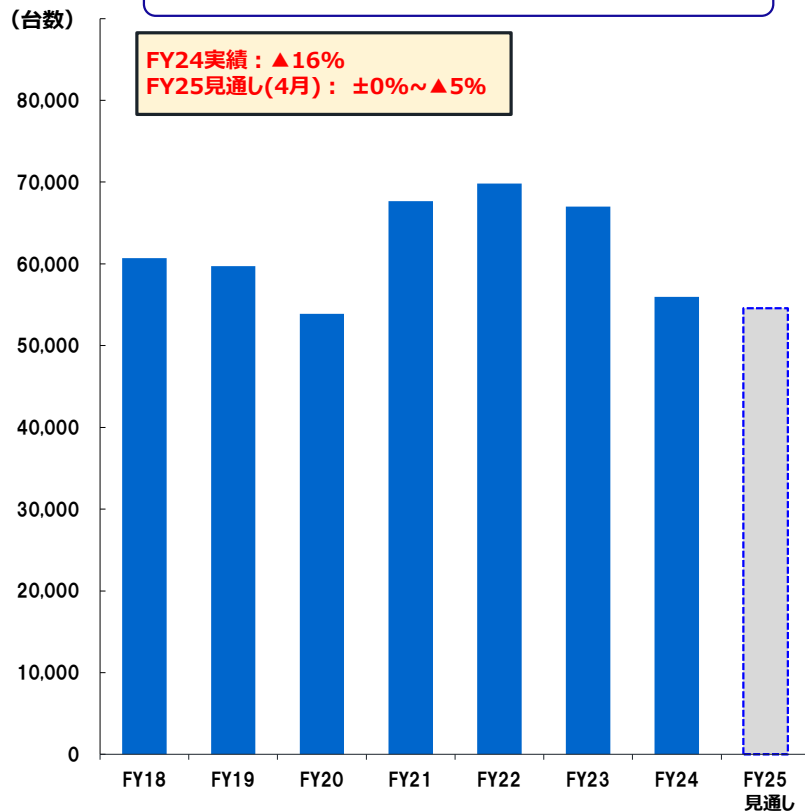
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②欧州

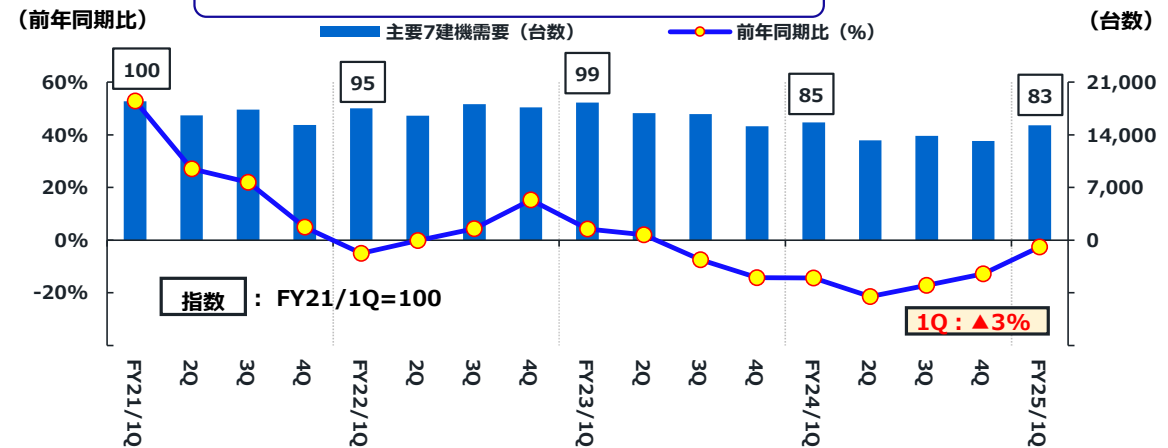
- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比▲3%の減少。利下げや財政拡大策などにより景況感の改善と需要の下げ止まりの兆し。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し。

主要7建機 年度別需要推移

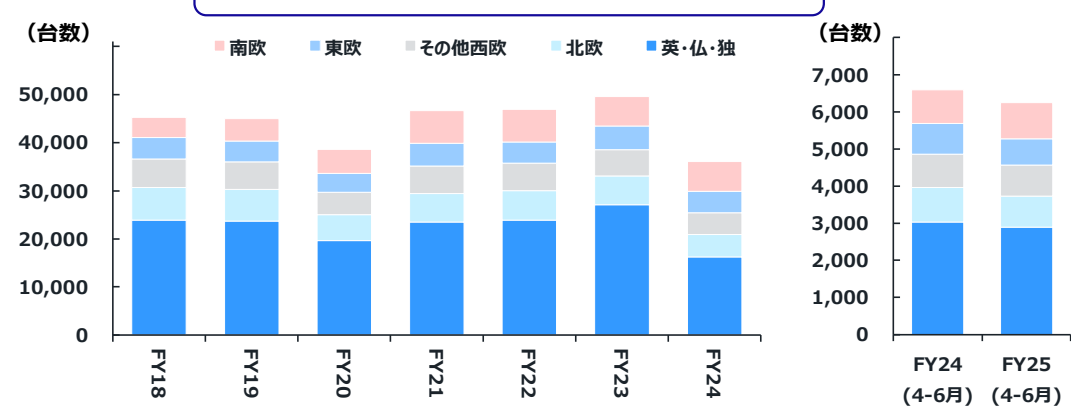


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



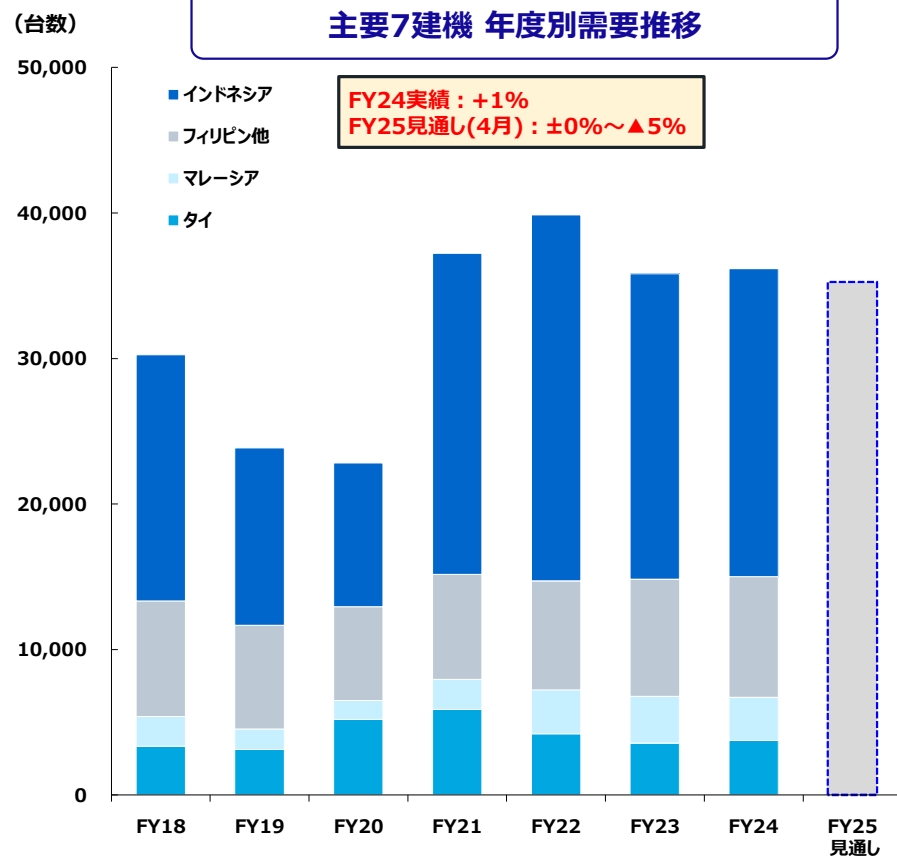
主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：③東南アジア

- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比+7%の増加。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し。足元で石炭価格が下落しており、今後の需要動向を注視。

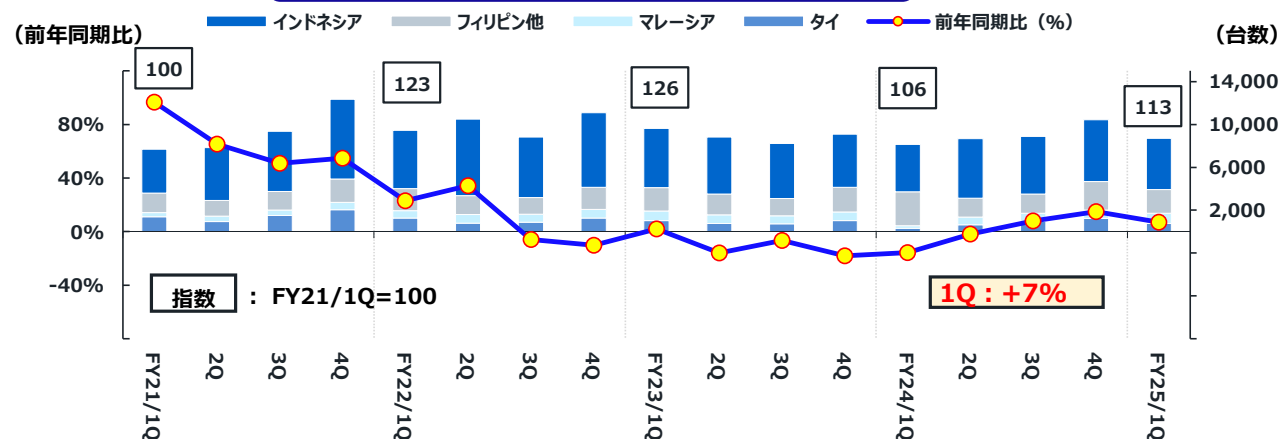
主要7建機 年度別需要推移



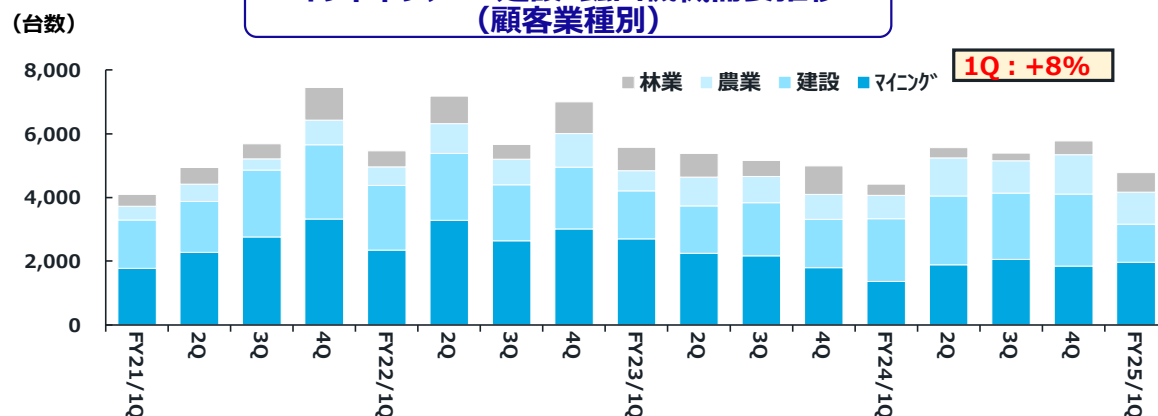
【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

KOMATSU

主要7建機 四半期需要推移



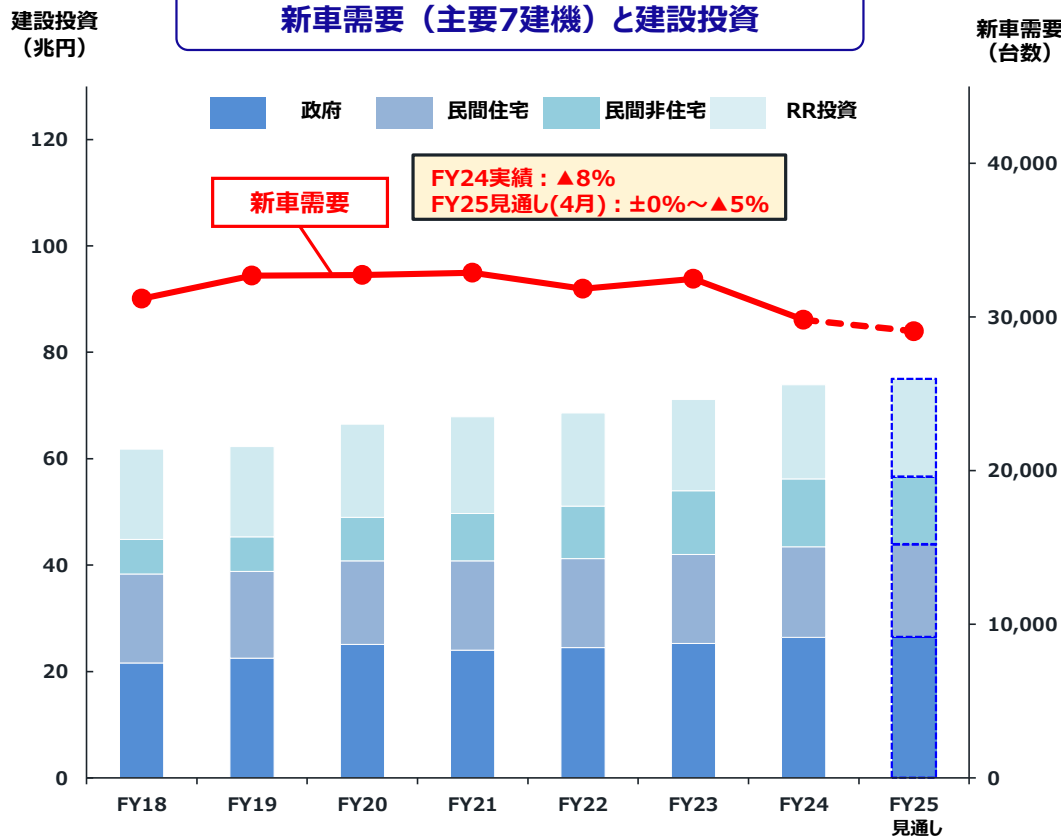
インドネシア：建設・鉱山機械需要推移
（顧客業種別）



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：④日本

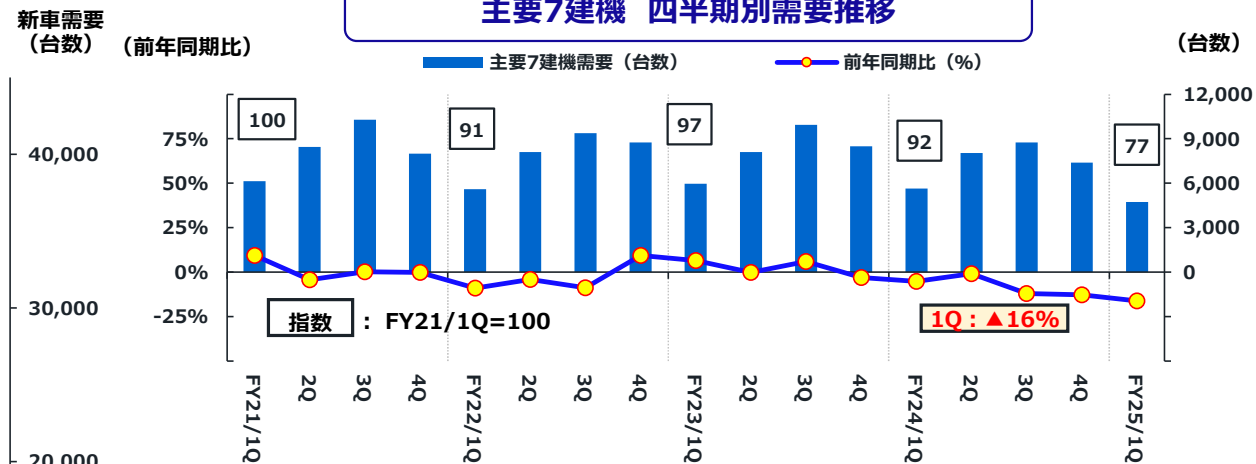
- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比▲16%の減少。一般向け、レンタル向けともに需要が引き続き低調。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し。

新車需要（主要7建機）と建設投資

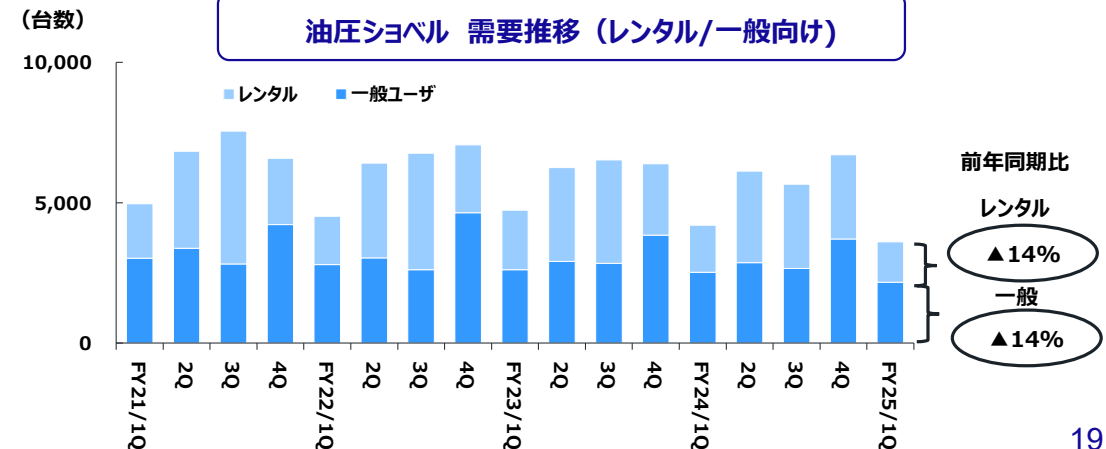


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

主要7建機 四半期別需要推移

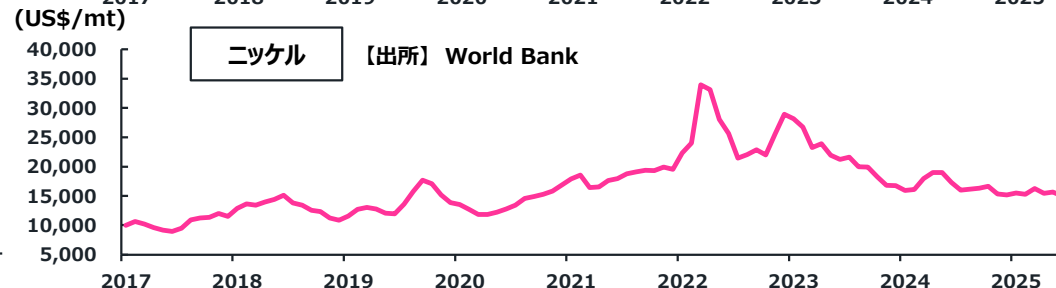
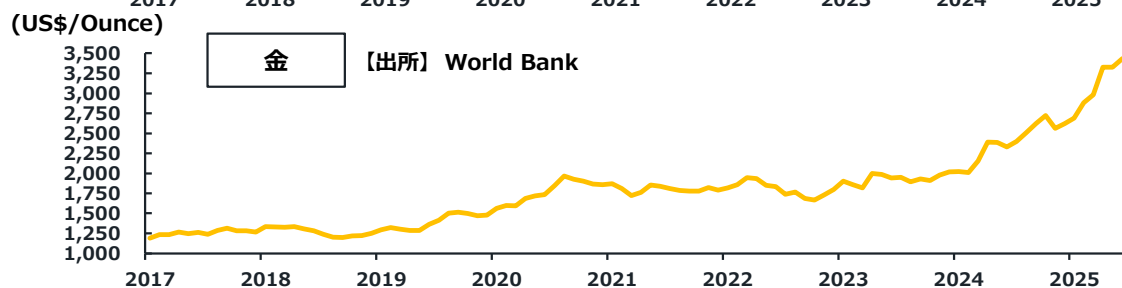
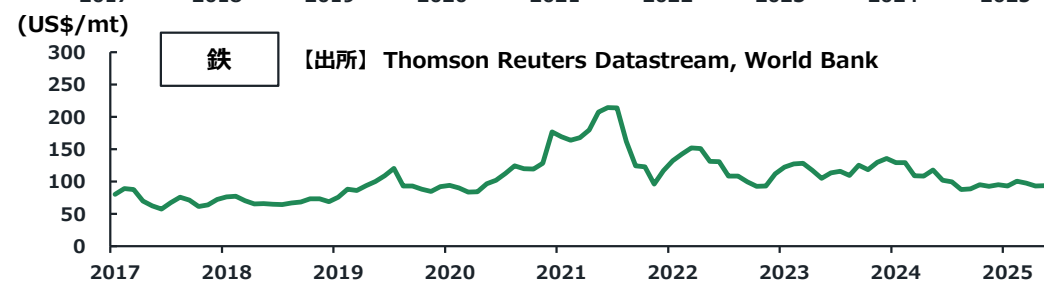
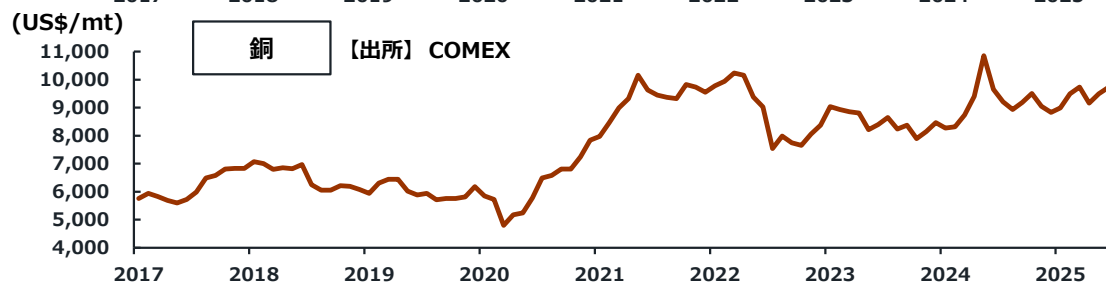
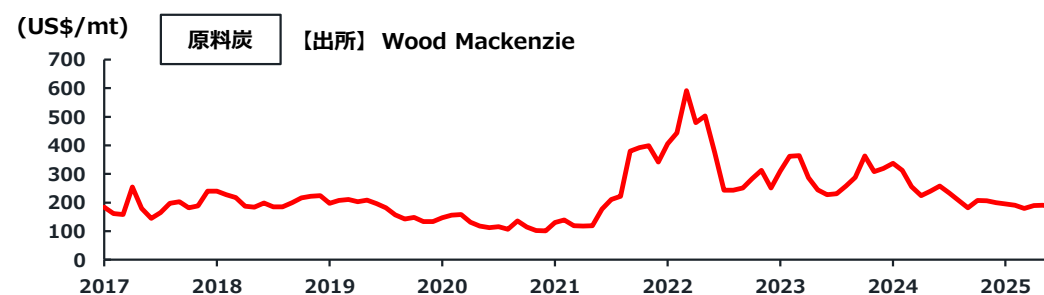
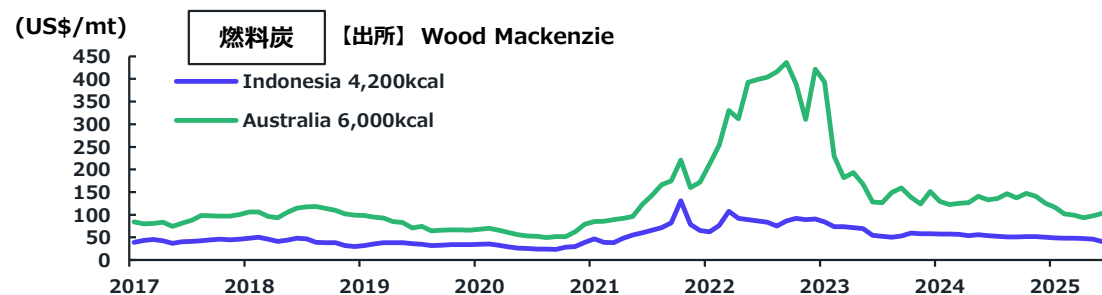


油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



＜建設機械・車両＞ 主要鉱物の価格推移と見通し

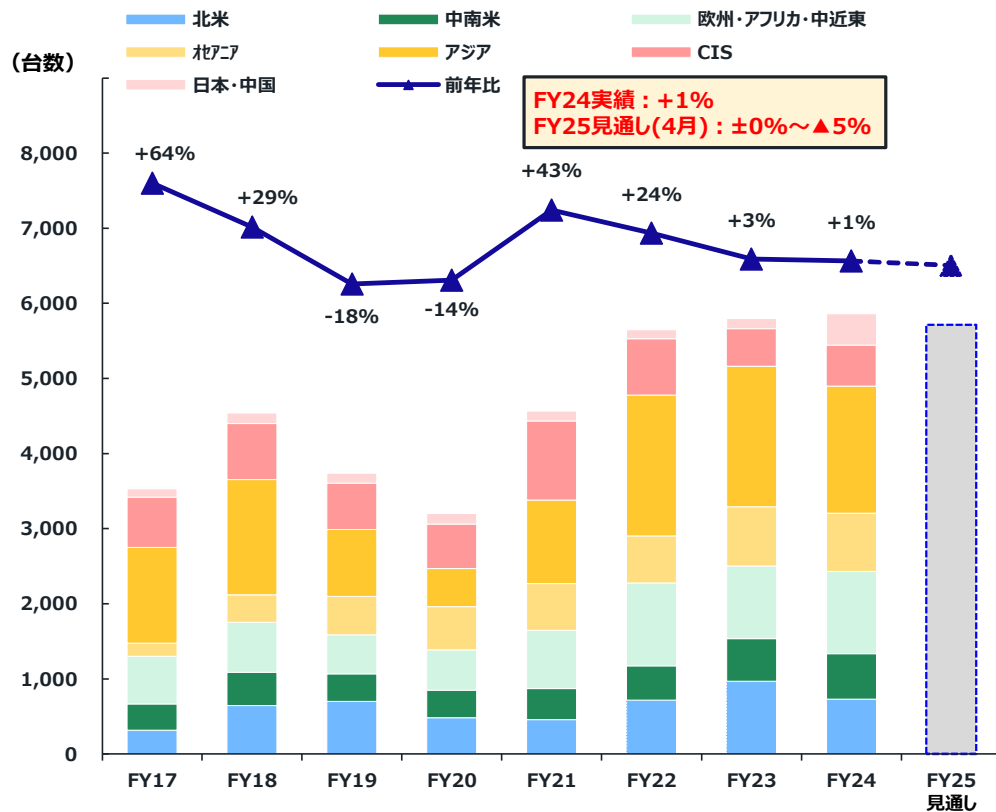
- ・燃料炭は、低品位炭は中国の国内炭供給増により下落基調、高品位炭は引き続き安定して推移する見込み。
- ・原料炭/鉄鉱石は、中国での需要減を受けて価格は下落傾向、他地域での需要も見込まれるものの、今後の変動幅は大きくなる見込み。
- ・銅は、米国の関税政策の影響で足元で変動幅が大きくなっているが、長期的に見ると高値の水準を維持。



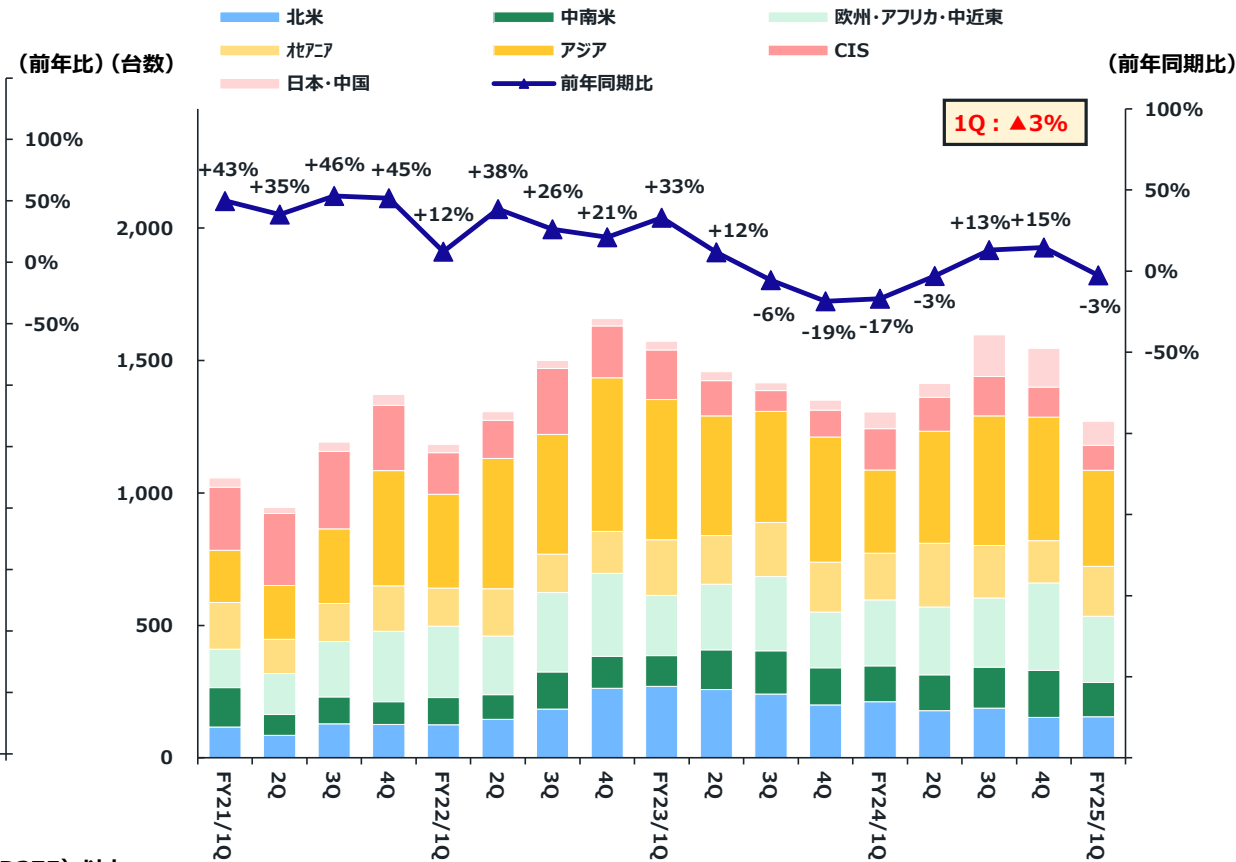
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2025年度第1四半期の需要は、前年同期比▲3%の減少。
- ・2025年度の需要は、前年比+0%～▲5%の見通し。足元でインドネシアの石炭価格が下落しており、今後の需要動向を注視。

鉱山機械 年度別需要推移



鉱山機械 四半期別需要推移



【出所】 コマツの推定

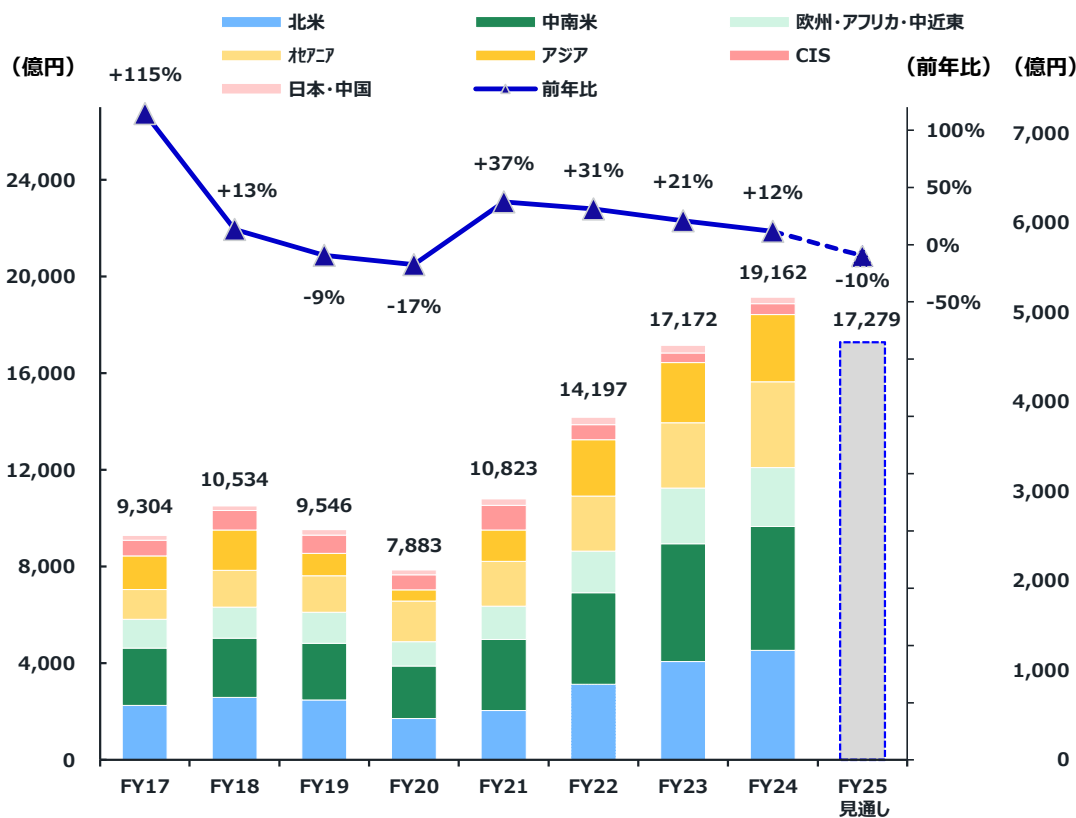
KOMATSU

- ・ダンプトラック: 75 t (HD785) 以上
- ・エクスカベーター: 200 t (PC2000) 以上
- ・モーターレーダー: 280HP (GD825) 以上
- ・ブルドーザー: 525HP (D375) 以上
- ・ホイールローダー: 810HP (WA800) 以上

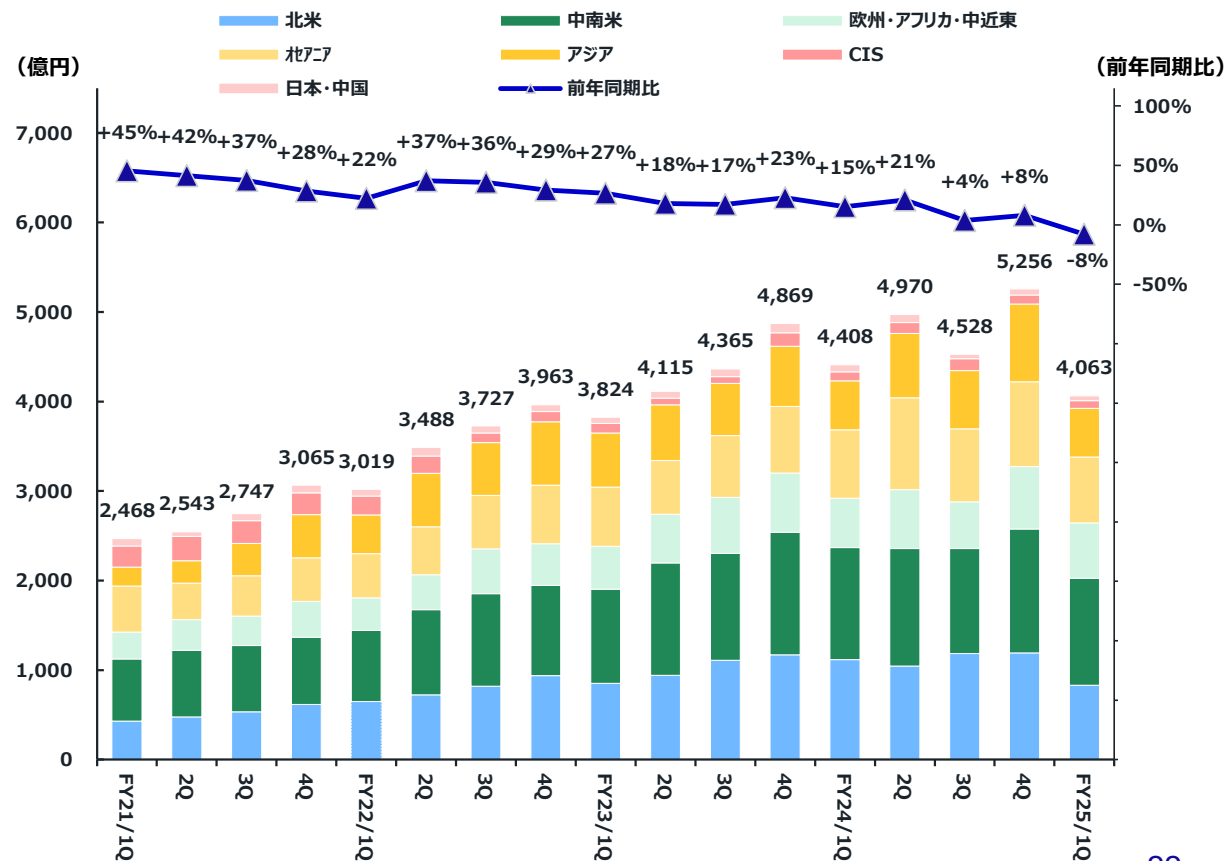
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2025年度第1四半期の売上高は、前年同期比▲8%減収の4,063億円。
- ・2025年度の売上高は、前年比▲10%減収の1兆7,279億円の見通し。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）

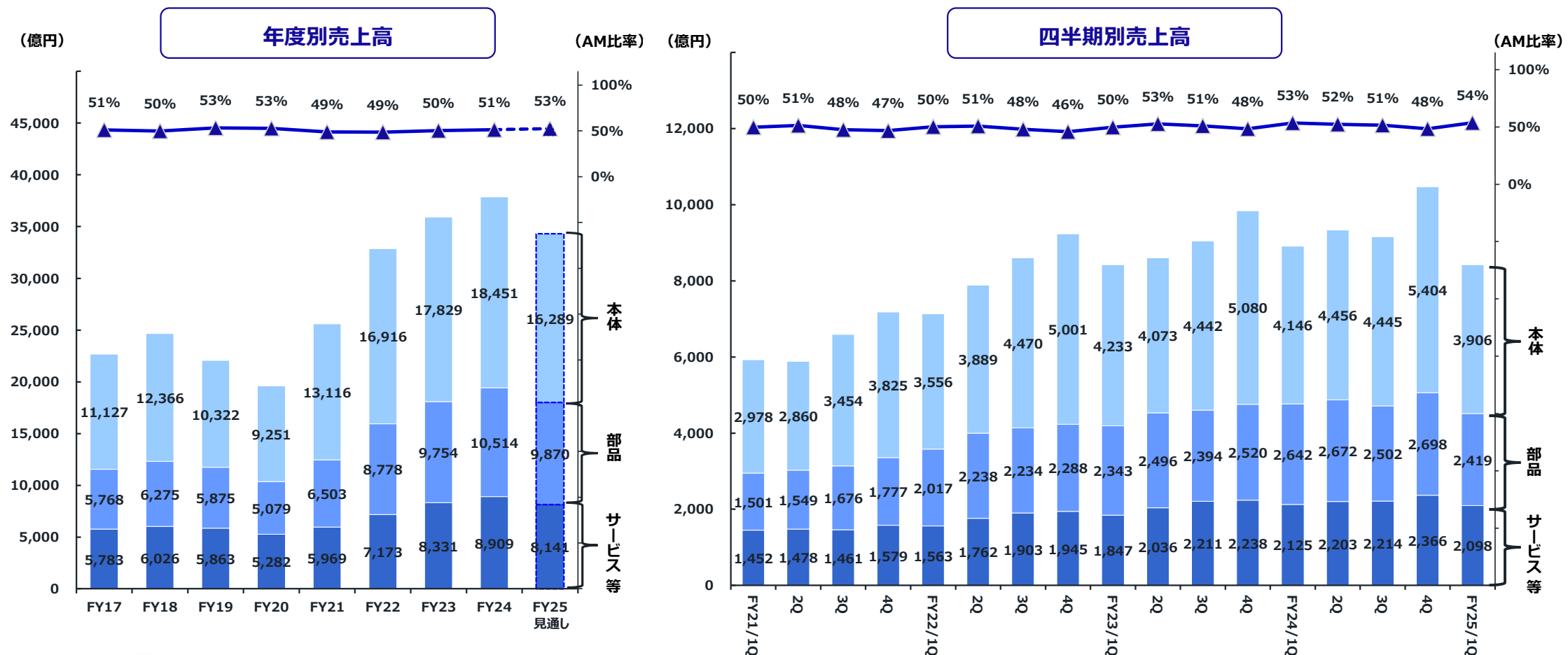


鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



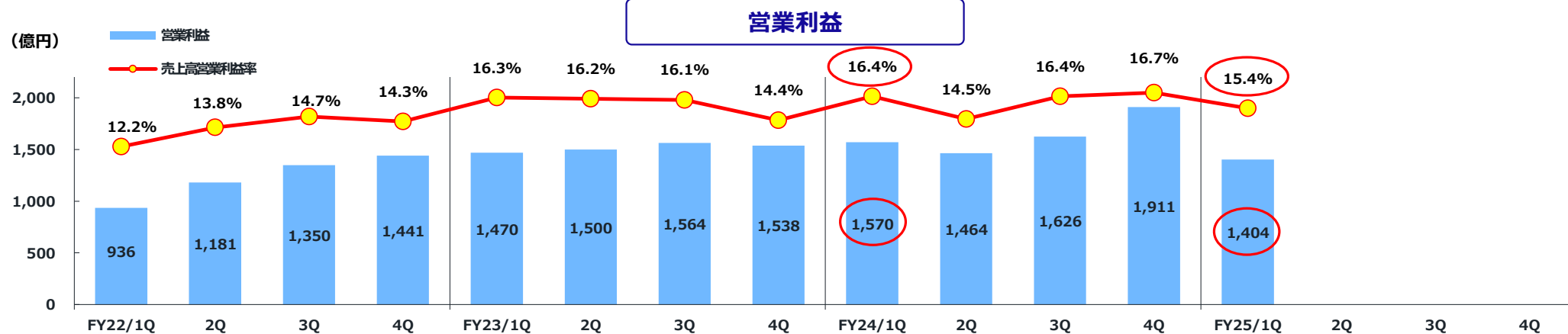
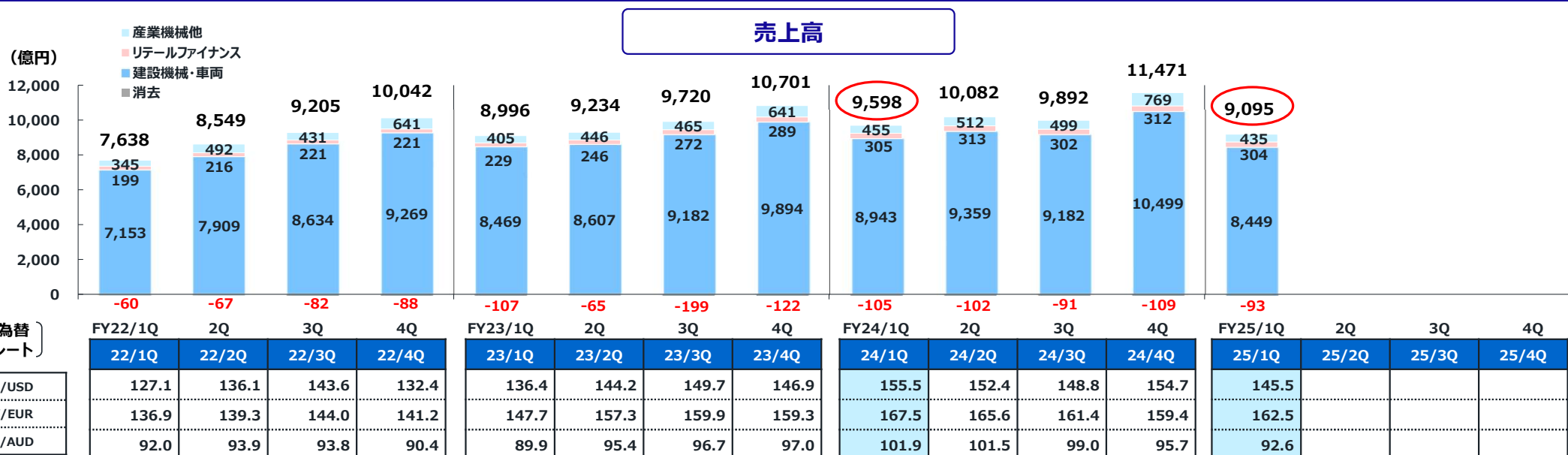
<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2025年度第1四半期の部品売上高は、前年同期比▲8%減収の2,419億円。サービス等をあわせたアフターマーケット比率（AM比率）は54%。
- ・2025年度の部品売上高は、前年比▲6%減収の9,870億円の見通し。サービス等をあわせたAM比率は53%の見通し。

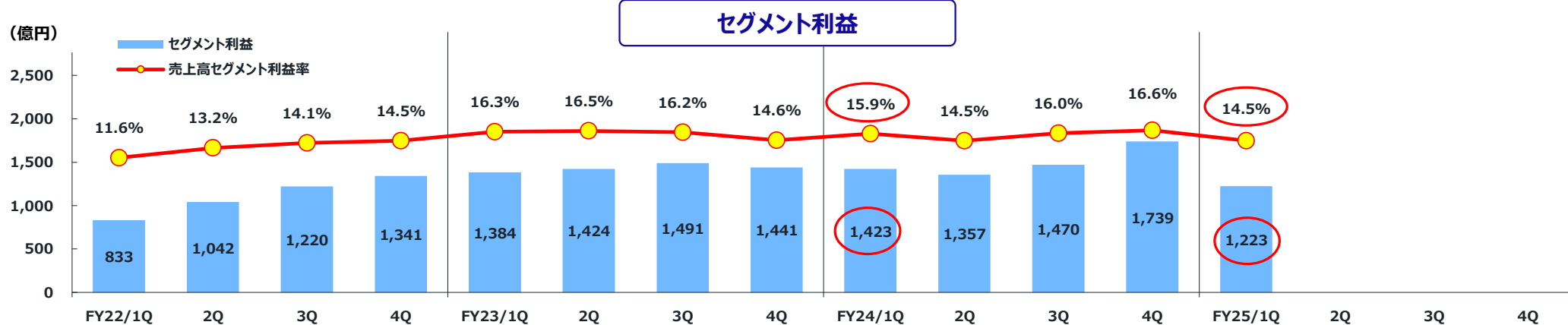
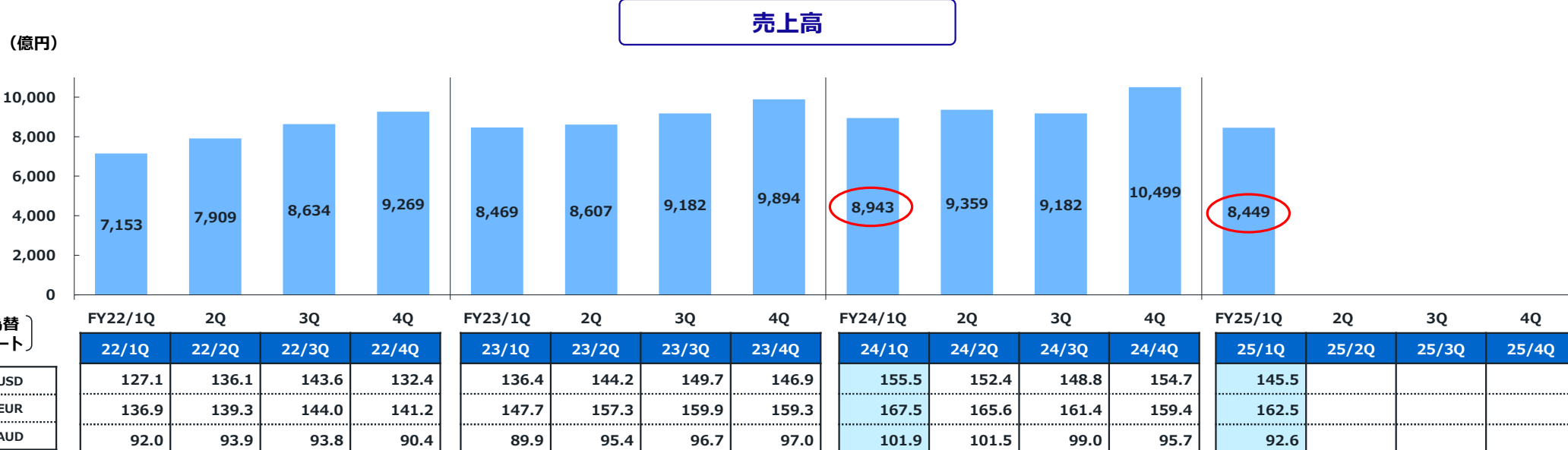


参考資料

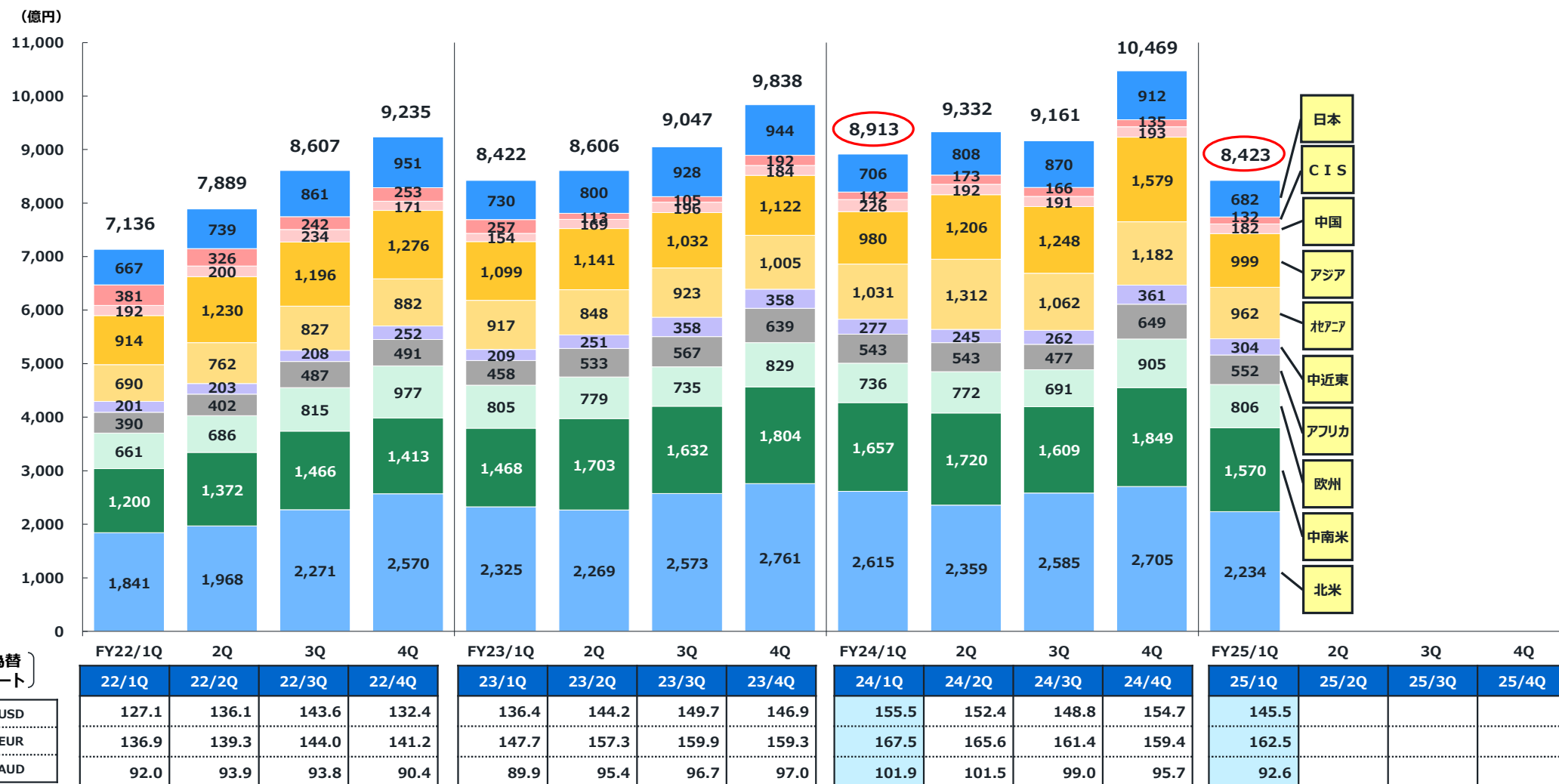
【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移



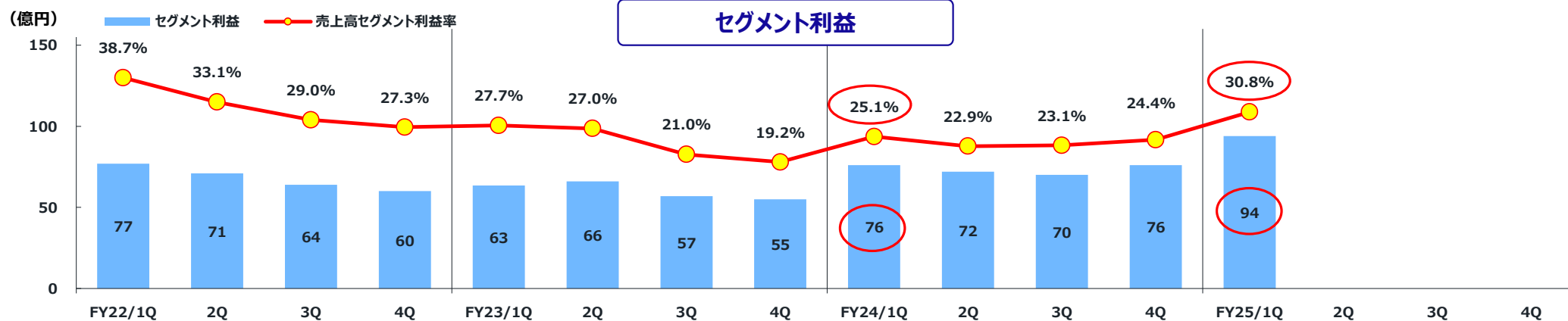
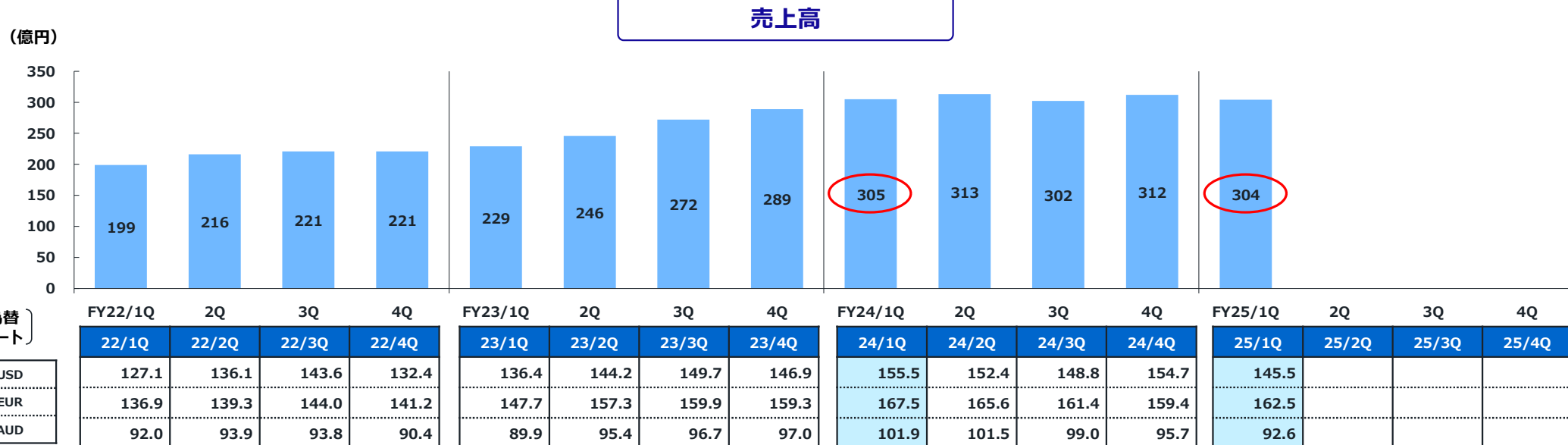
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



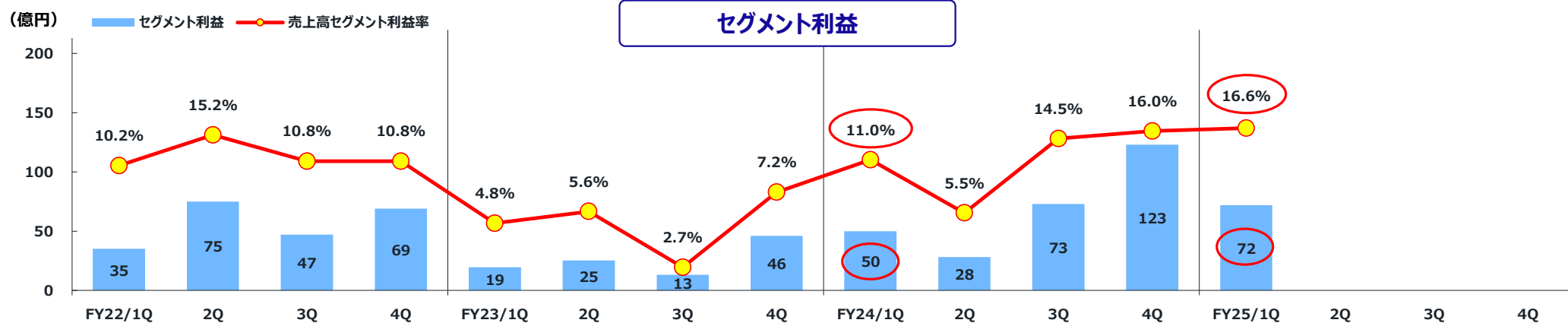
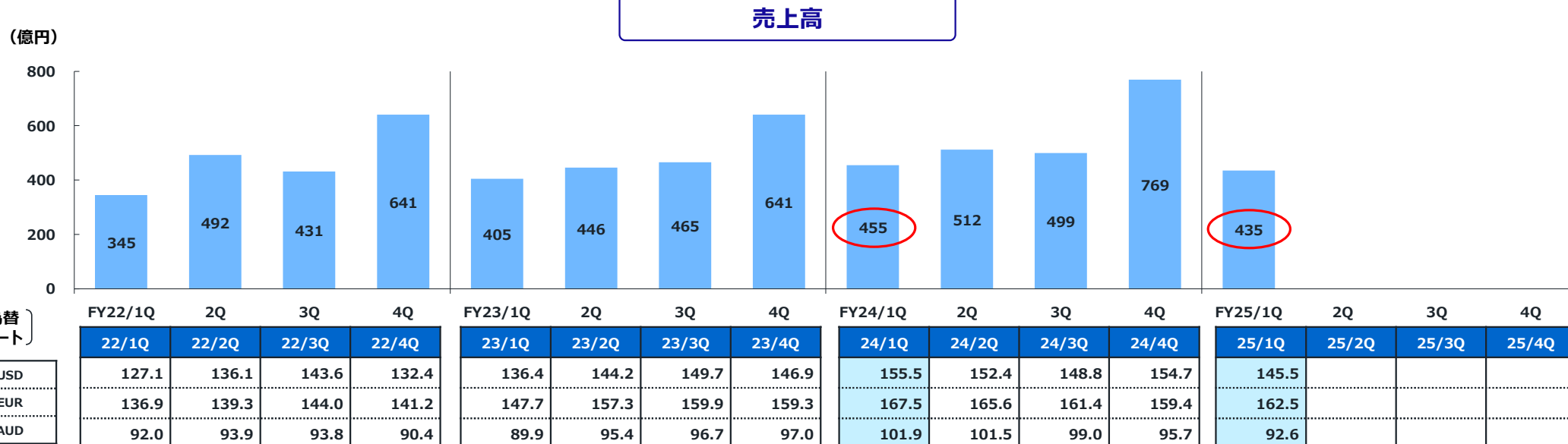
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



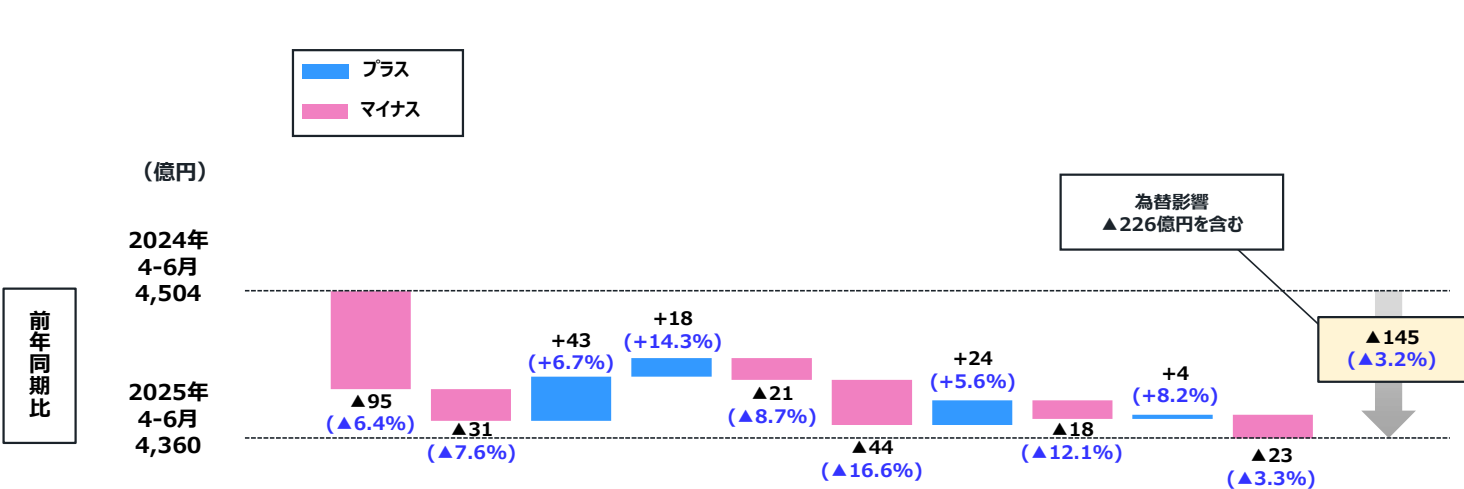
【参考資料】＜リテールファイナンス＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



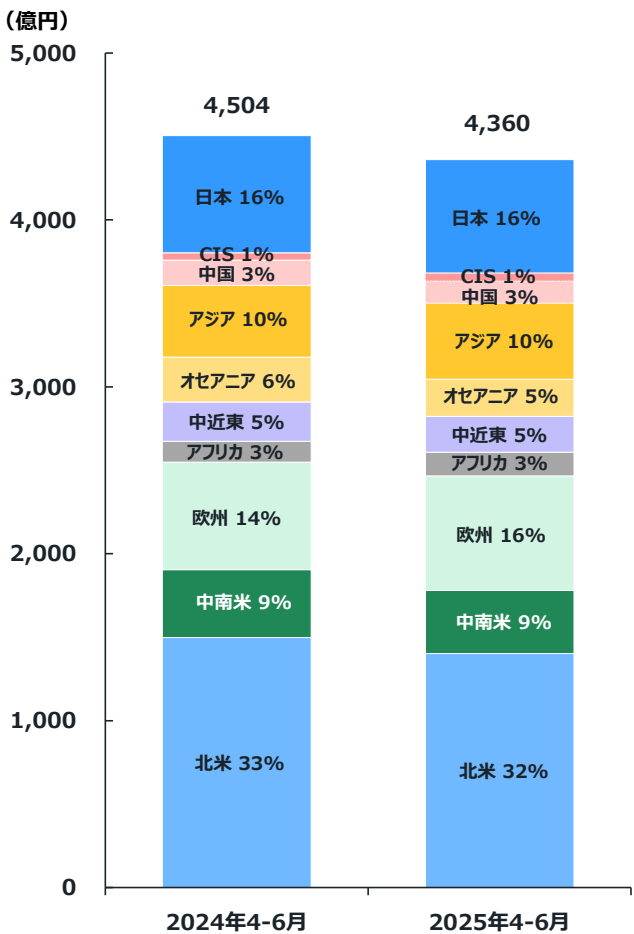
【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



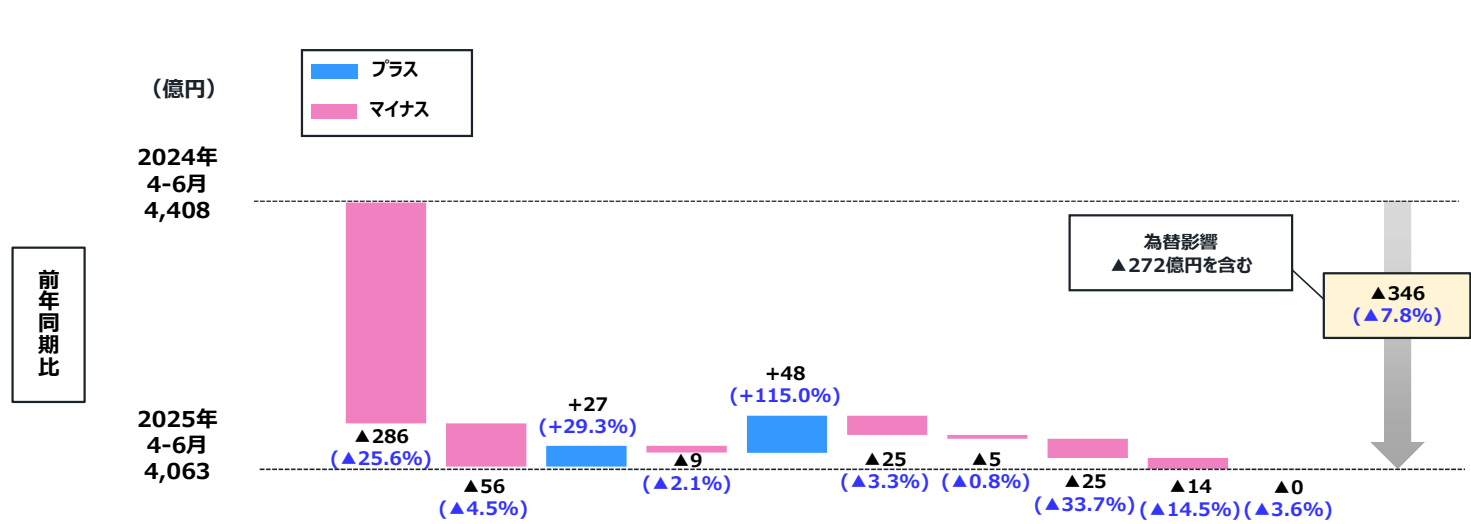
【参考資料】（一般建機）2025年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）



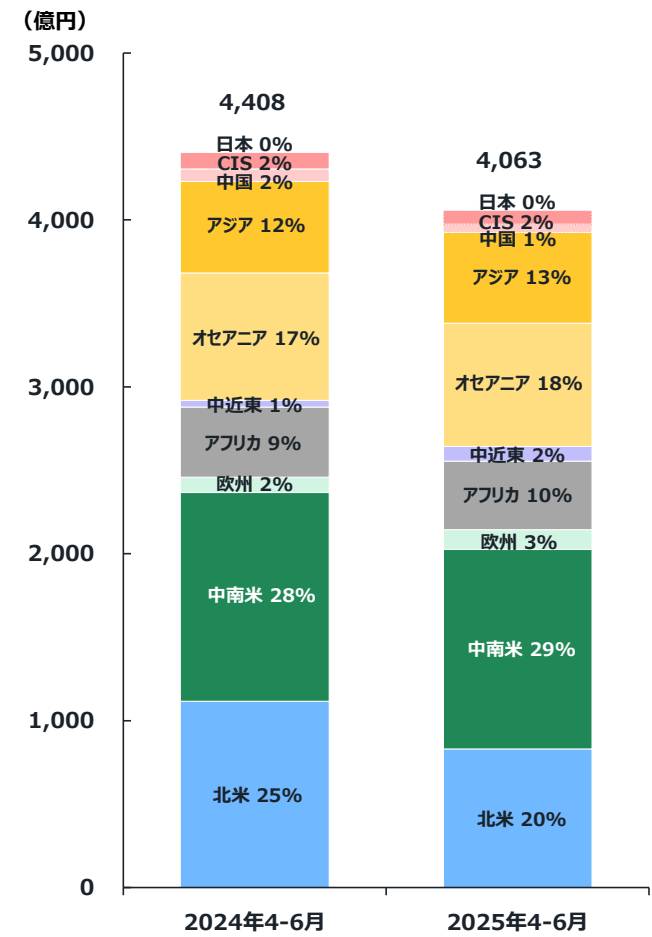
(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年 4-6月	1,498	407	644	124	236	268	431	151	44	702	4,504
2025年 4-6月	1,403	376	687	142	215	224	455	133	47	678	4,360
増減	▲ 95	▲ 31	+43	+18	▲ 21	▲ 44	+24	▲ 18	+4	▲ 23	▲ 145
増減 (為替影響除き)	▲ 1	▲ 8	+62	+26	▲ 3	▲ 23	+42	▲ 9	+19	▲ 23	+81



【参考資料】（鉱山機械）2025年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）

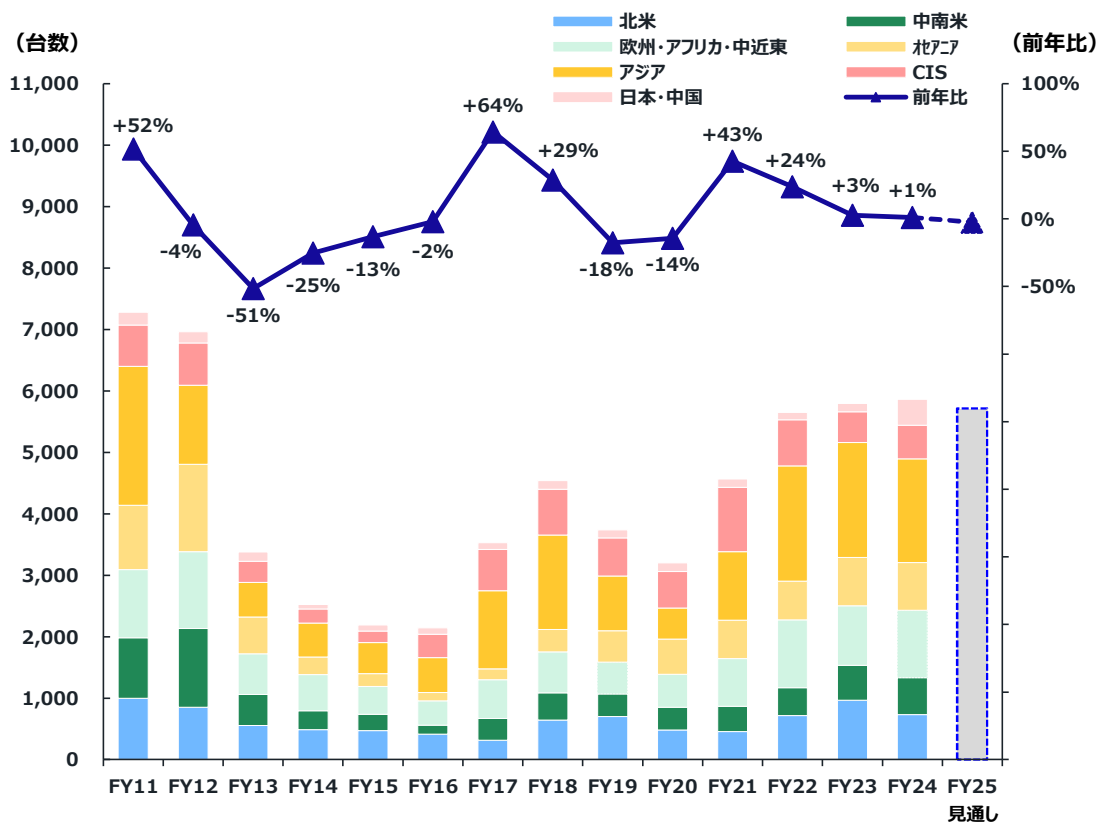


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年 4-6月	1,117	1,250	92	419	41	763	548	74	99	4	4,408
2025年 4-6月	831	1,193	119	410	89	738	544	49	84	4	4,063
増減	▲ 286	▲ 56	+27	▲ 9	+48	▲ 25	▲ 5	▲ 25	▲ 14	▲ 0	▲ 346
増減 (為替影響除き)	▲ 229	+27	+34	+7	+48	+45	+34	▲ 22	▲ 18	▲ 0	▲ 74



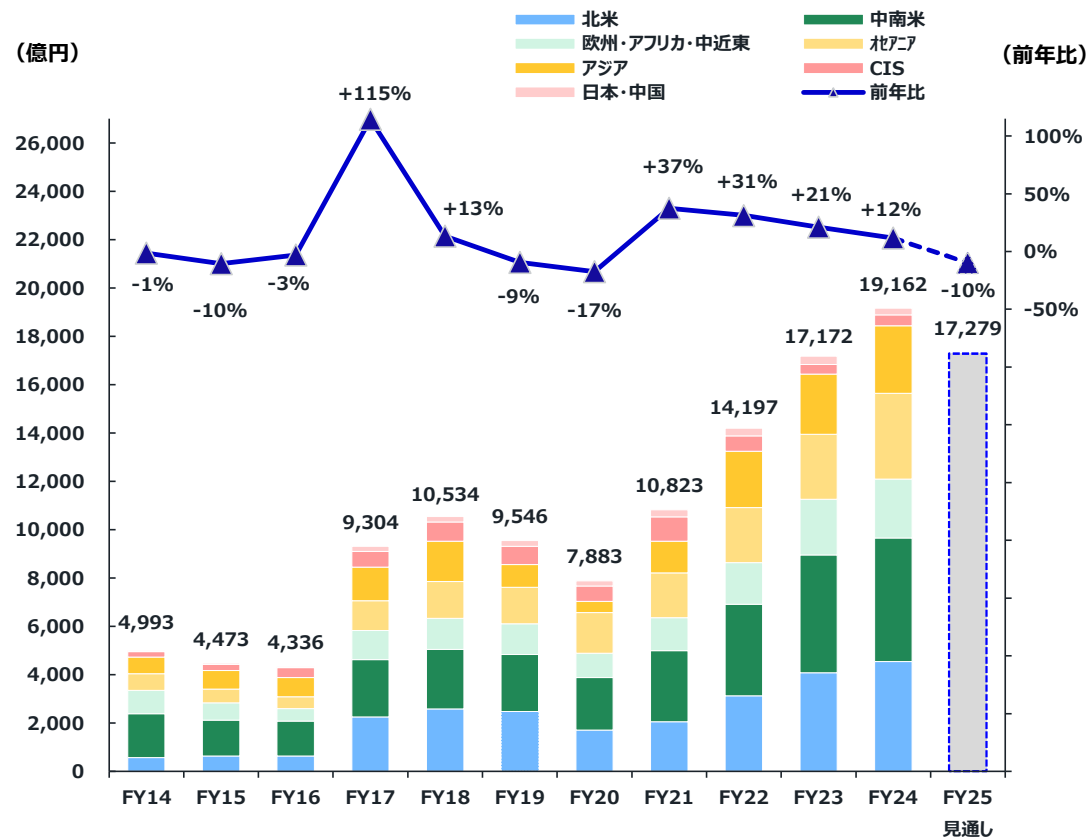
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要・売上高の推移と見通し

鉱山機械 年度別需要推移

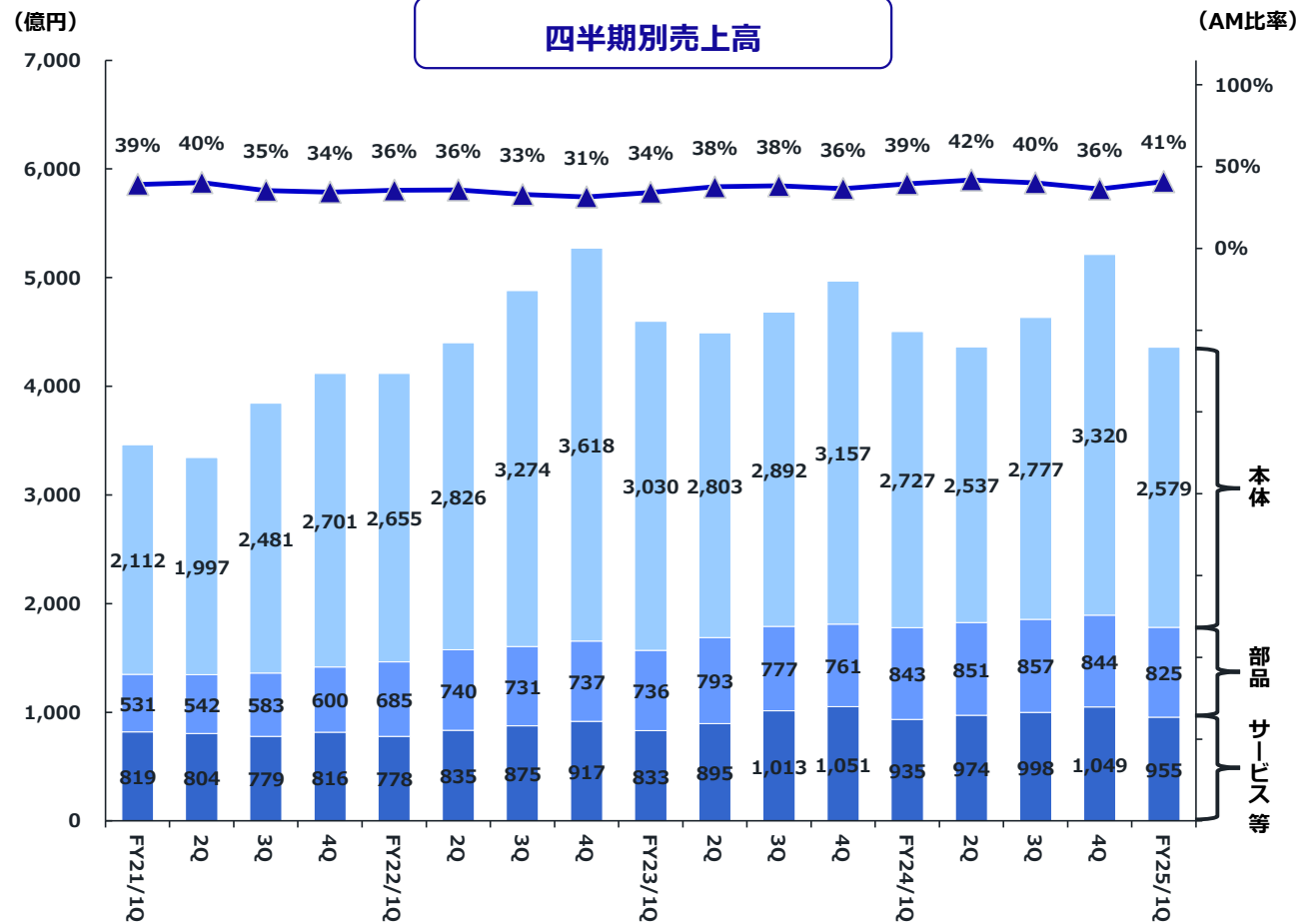
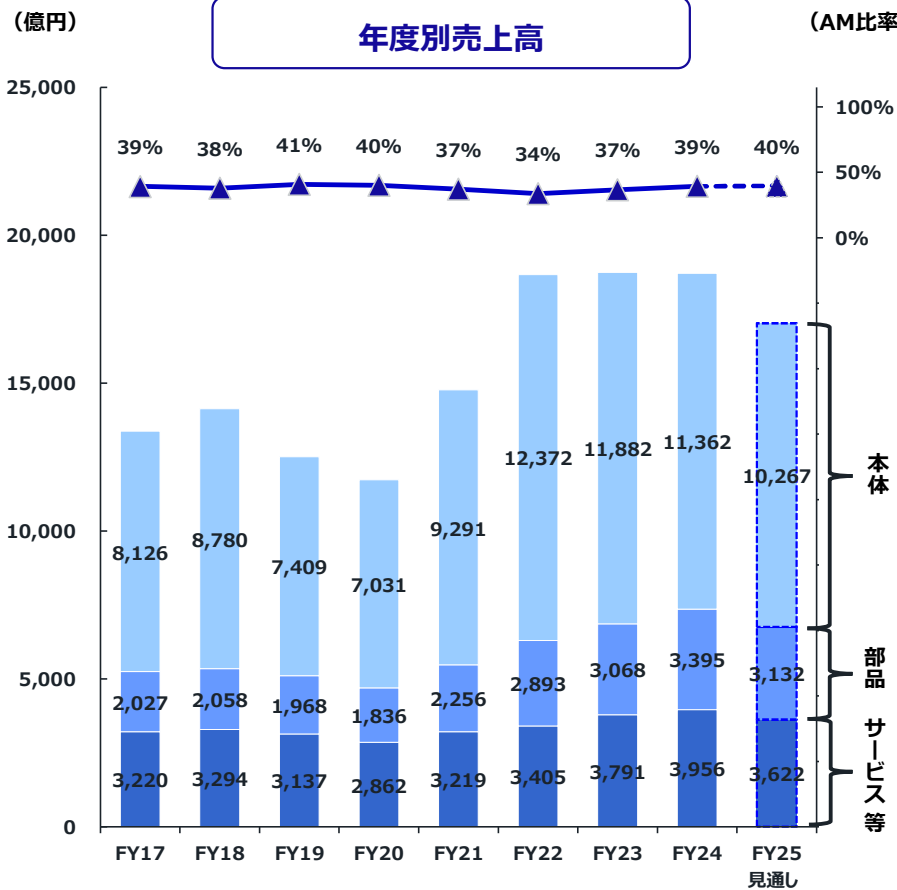


・ダンプトラック：75 t (HD785) 以上
 ・エクスカベーター：200 t (PC2000) 以上
 ・モーターレーダー：280HP (GD825) 以上
 ・ブルドーザー：525HP (D375) 以上
 ・ホイールローダー：810HP (WA800) 以上

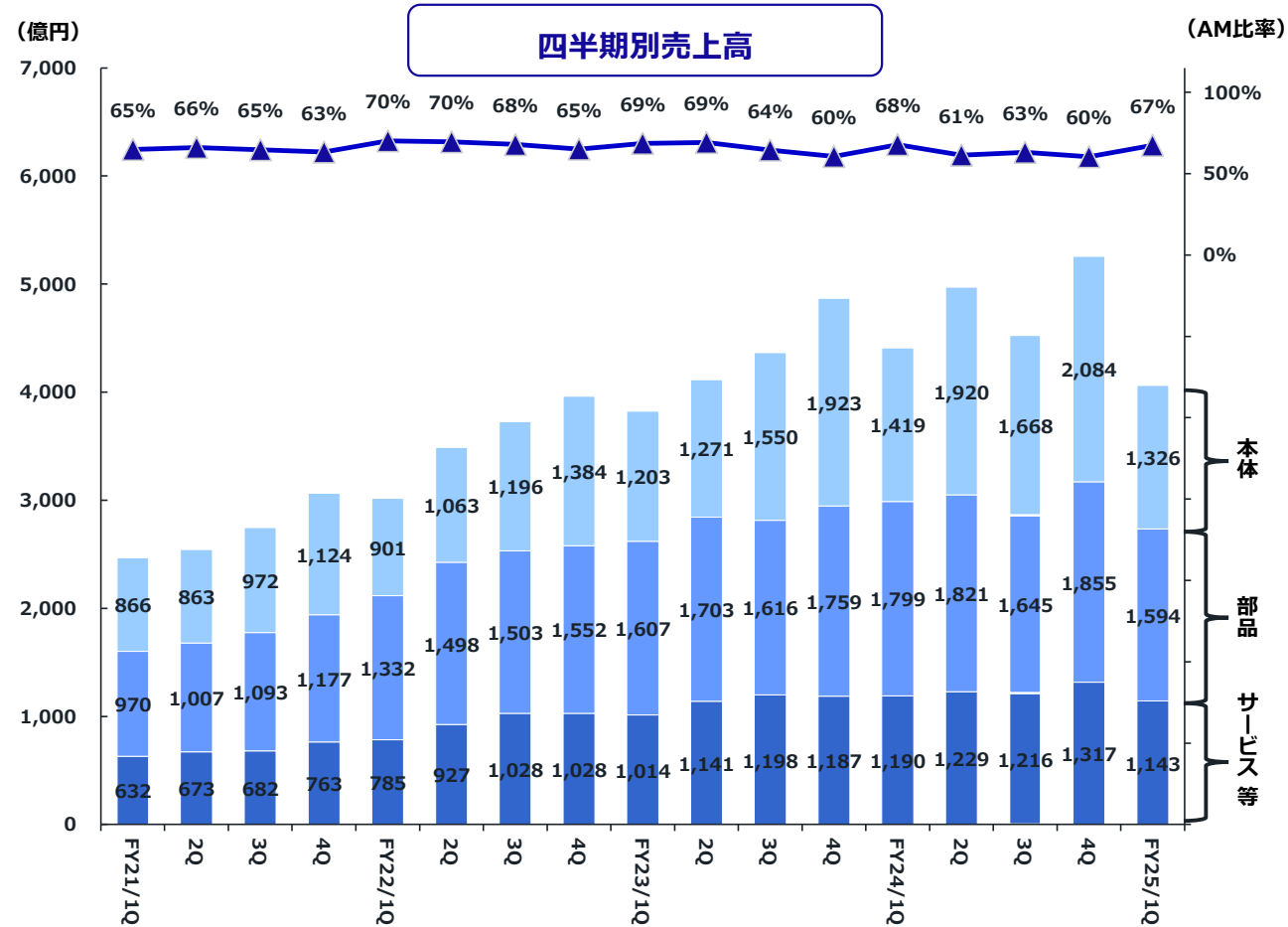
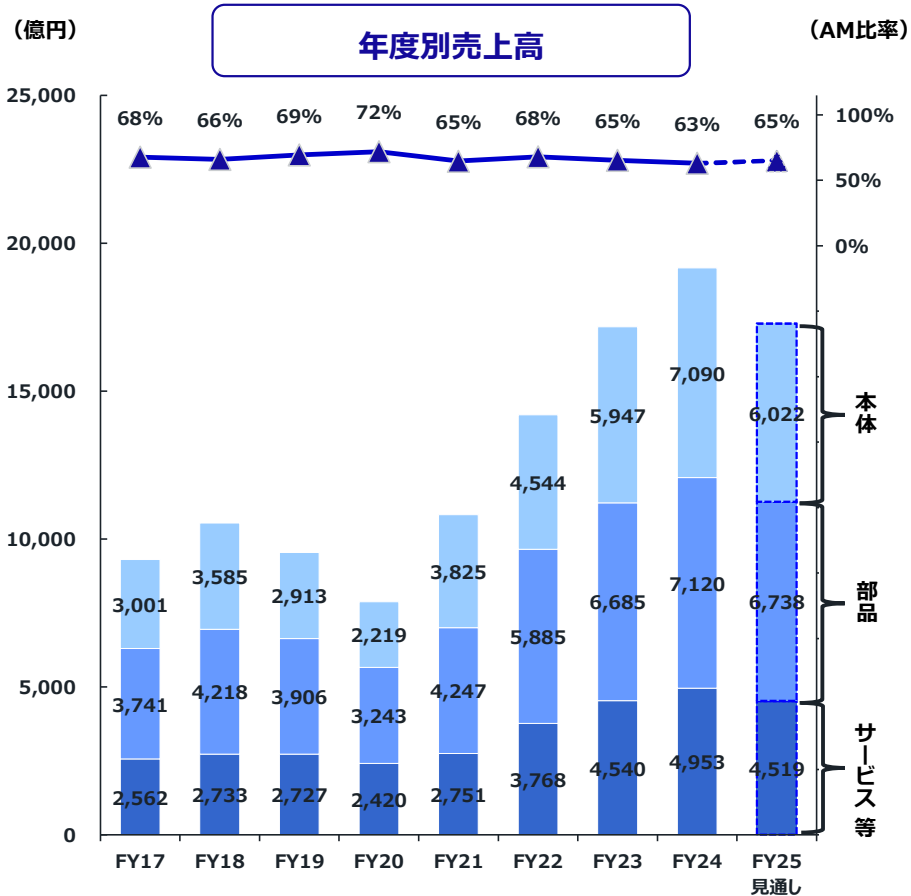
鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)



【参考資料】＜一般建機＞ 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

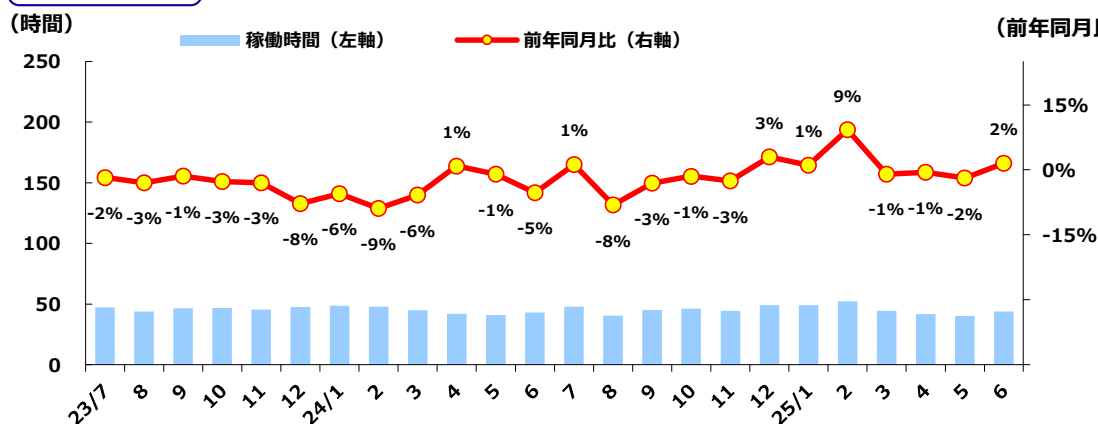


【参考資料】＜鉦山機械＞ 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

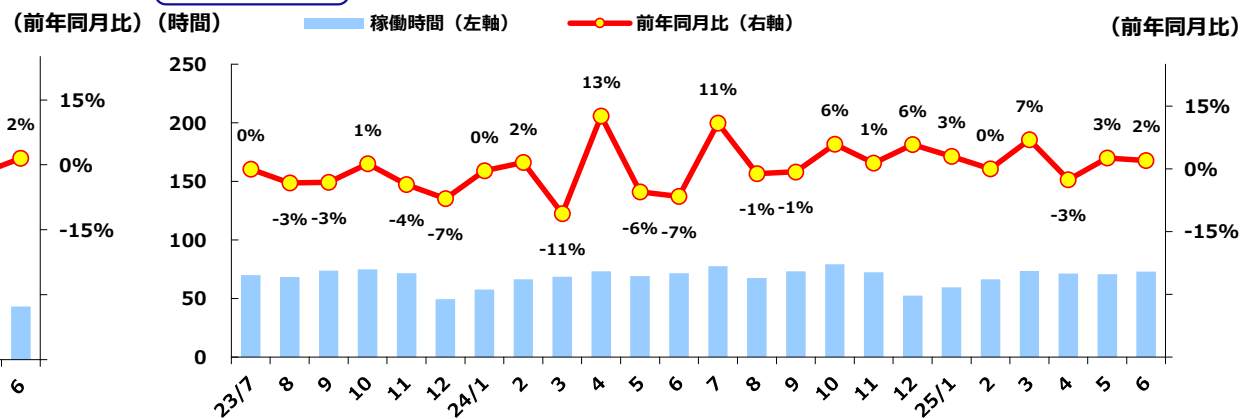


【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

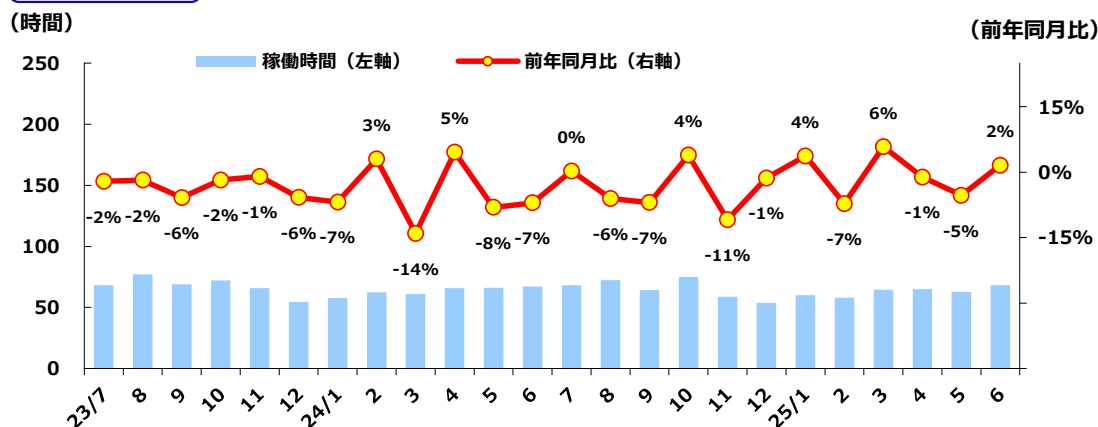
日本



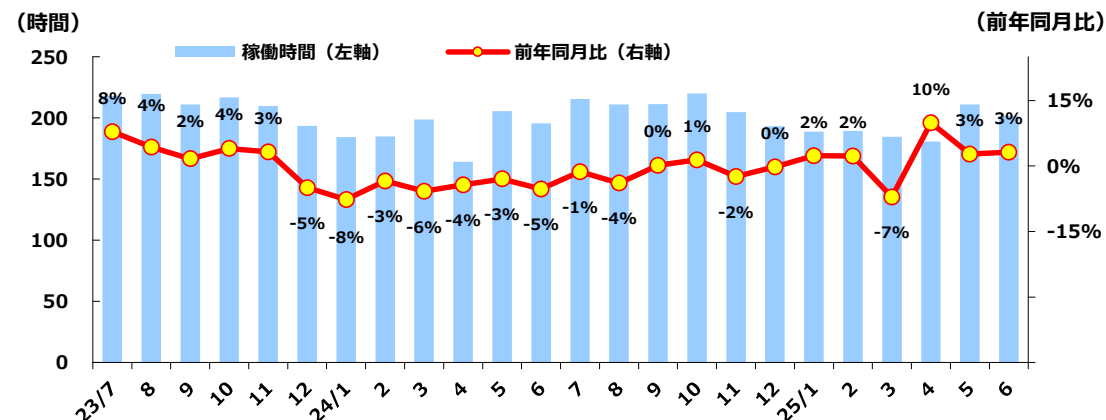
欧州



北米



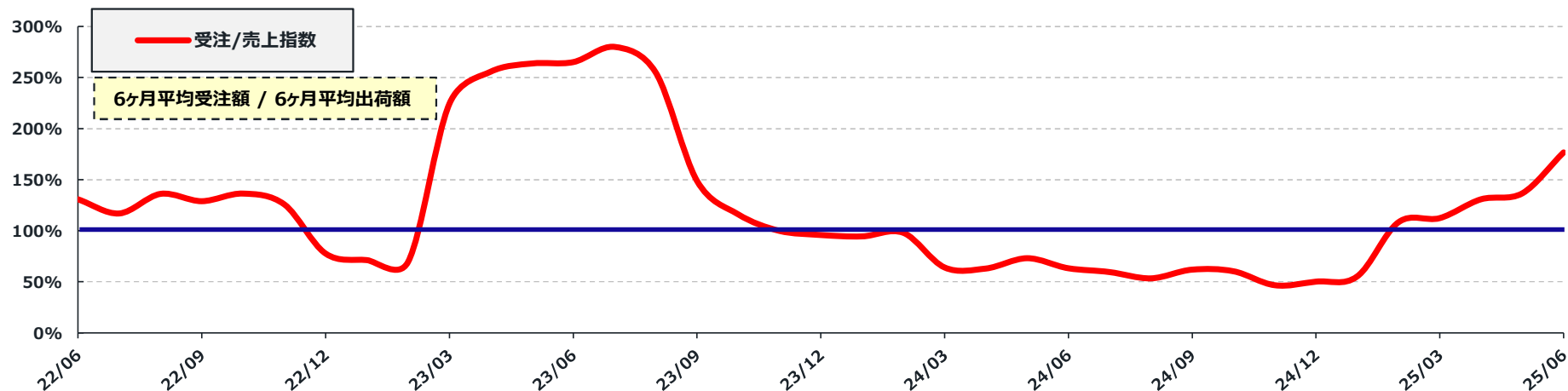
インドネシア



【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

コマツアメリカ (マイニング)

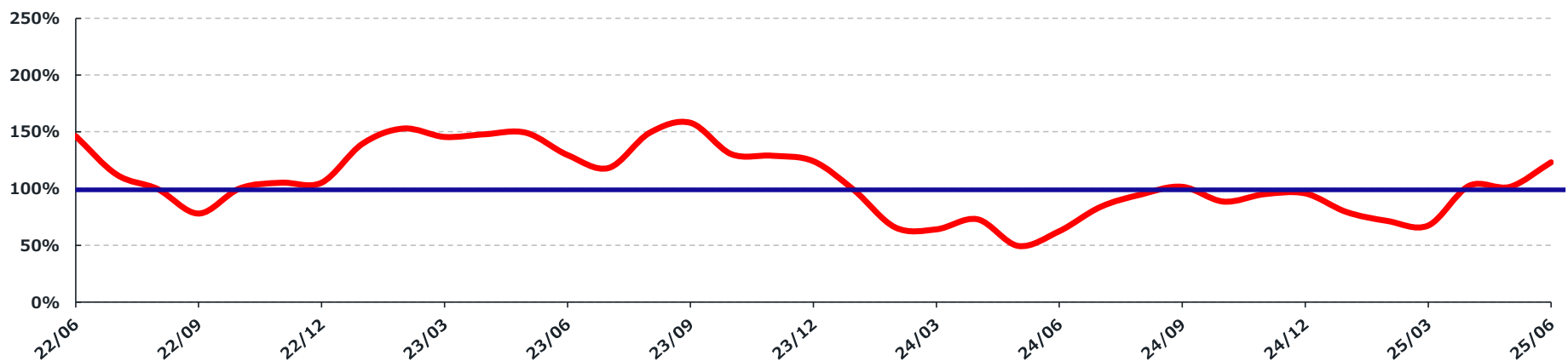
730E,830E,860E
930E,960E,980E



KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

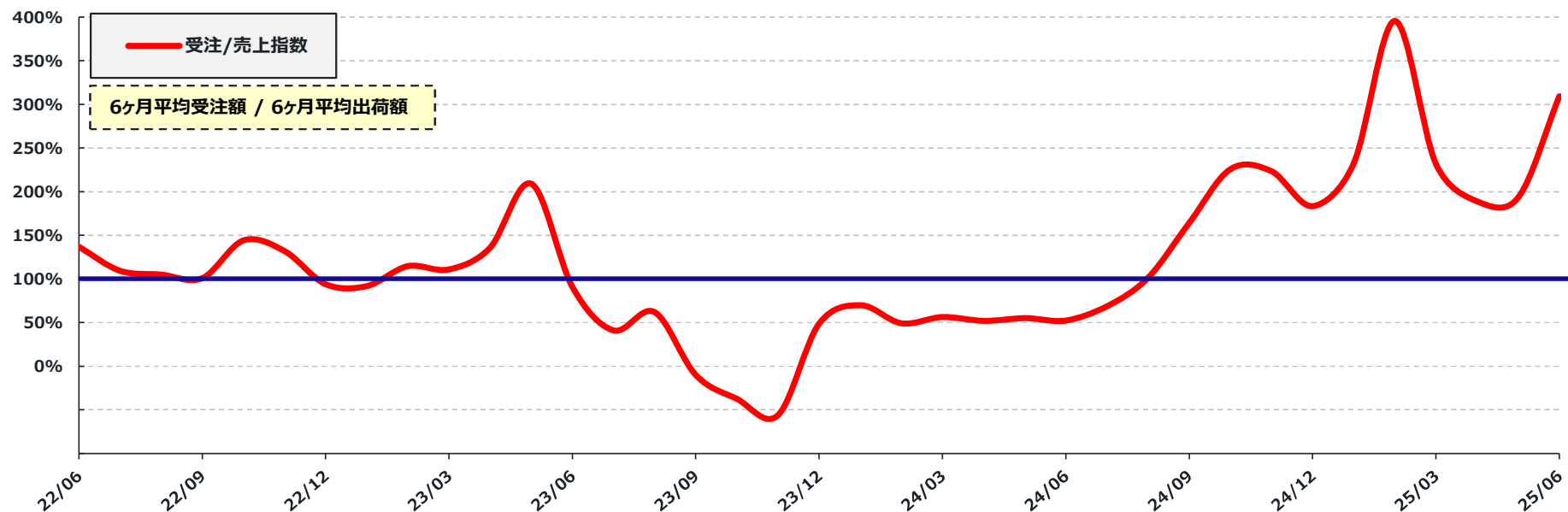
<坑内掘り>
コンティニューアスマイナー
シアラー
ロードホールダンブ
ジャンボドリル他



【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

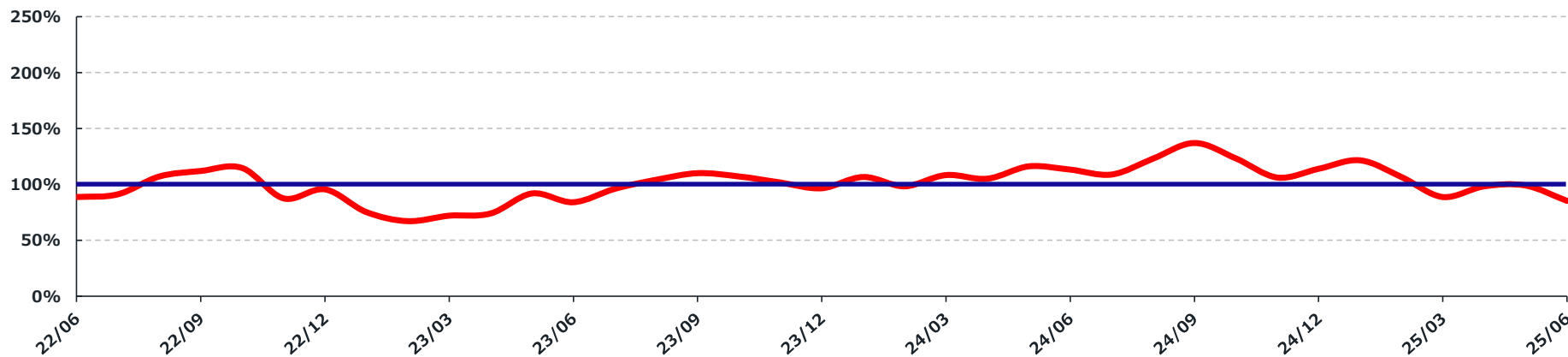
コマツドイツ (マイニング)

PC3000,PC4000
PC5500,PC7000
PC8000,PC9000



コマツ単独 (マイニング)

HD785,HD1500
PC2000,PC3400
WA800 up
D375A up
GD825A up



中近東における初の大規模な鉱山機械の受注 レコディク銅・金鉱開発プロジェクト（パキスタン）

コマツは、カナダの大手鉱山会社Barrick Mining Corporationがパキスタン政府及びバロチスタン州政府と進めるレコディク銅・金鉱開発プロジェクト向けに、コマツ製鉱山機械を提供する契約を締結しました。

これはコマツの中近東における初の大規模な鉱山機械の受注で、2026年度から総額4億4,000万ドル規模の鉱山機械を販売します。今回の受注に伴い、効率的な鉱山運営を強力にサポートするために、KOMATSU PAKISTAN MINING (SMC-PRIVATE) LIMITED を設立します。



- 温室効果ガス（GHG）削減に向けた取り組みを加速 - スウェーデン・Boliden社アイティク銅鉱山でパワーアグノスティックトラックの稼働を開始

コマツは、スウェーデンの資源大手Boliden社が保有する欧州最大級の銅鉱山アイティク銅鉱山において、多様な動力源への対応性に優れた「パワーアグノスティックトラック」の稼働を開始しました。

今回の導入は、鉱山現場で稼働する「パワーアグノスティックトラック」として世界初の事例となります。



参考情報リンク先

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2025/20250428_2

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2024>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

コマツ 経営管理部

TEL: 03-6849-9725

FAX: 03-6849-9795

<https://www.komatsu.jp/ja>